

# Print Server N01

Version 6.0

ユーザーズガイド 導入編

プリンターで紙幣を印刷したり、有価証券などを不正に印刷すると、その印刷物を使用するかどうかにかかわらず、法律に違反し罰せられます。

万一本体の記憶媒体（ハードディスク等）に不具合が発生した場合、受信したデータ、蓄積されたデータ、設定登録されたデータ等が消失することがあります。データの消失による損害については、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

コンピューターウイルスや不正侵入などによって発生した障害については、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ご注意

- ①本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
- ②本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ③本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。

## はじめに

このたびは、Print Server N01 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

Print Server は、PostScript® を使用して、高品質のカラープリントを実現するためのプリントサーバーです。

本書は、ご使用の OS 環境の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に、Print Server のクライアントソフトウェアをはじめて使用するかたから、サーバーを管理するかたまでを対象に、Print Server の基本的な設定や操作方法、ネットワークの設定、およびクライアントソフトウェアのインストール方法などを記載しています。

Print Server の性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくために、Print Server をご使用になる前に本書を必ずお読みのうえ、正しくご利用ください。また、カラープリンターの機能や操作については、ご使用のカラープリンターに付属のマニュアルをお読みください。なお、弊社の保証範囲は、本製品の標準構成とそのオプション商品に限ります。

本書は、読み終わったあとも必ず保管してください。Print Server をご使用中に、操作でわからないことや不具合が出たときに読み直してご利用いただけます。

富士ゼロックス株式会社

# Contents

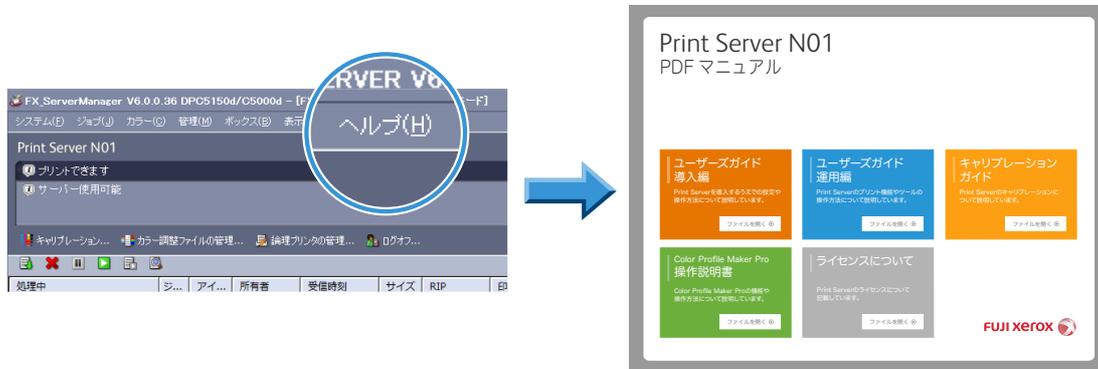
はじめに .....	3
Contents .....	4
マニュアル体系 .....	6
本書の使い方 .....	7
本書の表記 .....	8
商標について .....	9
Print Serverの機能紹介 .....	10
<b>1 ネットワークとPrint Serverの設定 .....</b>	<b>21</b>
1.1 Print Serverの設定をする .....	22
1.1.1 TCP/IPの設定 .....	22
1.1.2 Windowsのアカウント管理 .....	25
1.2 ServerManagerにログインする .....	27
1.2.1 ログイン/ログオフ .....	27
1.2.2 ユーザー管理 .....	28
1.3 AppleTalk設定ツールについて .....	31
1.3.1 AppleTalkプロトコルの設定 .....	31
1.3.2 共有フォルダの設定 .....	33
1.4 論理プリンタを作成する .....	35
1.5 ServerManagerの設定をする .....	39
1.5.1 プリントオプションテンプレートの設定 .....	39
1.5.2 ServerManagerの環境設定 .....	45
1.5.3 作業用フォルダの設定 .....	53
1.6 設定情報をバックアップする .....	56
<b>2 クライアントコンピューターの設定 .....</b>	<b>59</b>
2.1 ソフトウェアを入手する .....	60
2.1.1 クライアントコンピューターの動作環境 .....	60
2.1.2 Print Serverからのダウンロード .....	61
2.2 プリンターを設定する .....	63
2.2.1 Mac OS Classicクライアント .....	64
2.2.2 macOSクライアント .....	67
2.2.3 Windowsクライアント (プリンタードライバー) .....	71
2.2.4 Windowsクライアント (PDFプリンタードライバー) .....	79
2.3 ソフトウェアをインストールする .....	85
2.3.1 macOSクライアント .....	85
2.3.2 Windowsクライアント .....	86

<b>3 プリントの基本操作.....</b>	<b>89</b>
3.1 クライアントコンピューターからジョブを送信する .....	90
3.1.1 Mac OS Classicクライアント.....	91
3.1.2 macOSクライアント.....	93
3.1.3 Windowsクライアント.....	96
3.2 ServerManagerで編集、プリントする.....	98
3.2.1 ServerManagerウィンドウ.....	98
3.2.2 ジョブの編集.....	101
3.2.3 プリントの指示 .....	102
3.2.4 エラーシート .....	103
Index.....	104

Print Serverには、以下のマニュアルが用意されています。使用目的に合わせてご利用ください。

## ■ PDF マニュアル

ServerManagerの [ヘルプ] メニューから表示できます。



補足

『Color Profile Maker Pro 操作説明書』を除き、アプリケーションUSBメモリーの「Document」フォルダーにも格納されています。  
（『Color Profile Maker Pro 操作説明書』は、「ClientWindows」→「CPMP」フォルダー）



参照

クライアントコンピューターのServerManagerで表示する方法は、『ユーザーズガイド 運用編』の「3.1.7 ヘルプメニュー」を参照してください。

### ● ユーザーズガイド 導入編 <本書>

Print Serverを導入するうえでの設定や操作方法について説明しています。

### ● ユーザーズガイド 運用編

Print Serverのプリント機能、色の調整の仕方、プロファイルの割り当てやツールの操作方法について説明しています。

### ● キャリブレーションガイド

Print Serverのキャリブレーションについて説明しています。

### ● Color Profile Maker Pro 操作説明書

Color Profile Maker Proの機能や操作方法について説明しています。

### ● ライセンスについて

Print Serverのライセンスについて記載しています。

## ■ 紙マニュアル

### ● ユーザーズガイド セットアップ編

Print Serverを安全にご利用いただくために、Print Serverを使用する前に知っておいていただきたいことと、Print Serverのセットアップ方法について説明しています。

### ● Print Serverに関する補足情報

Print Serverの追加補足情報について説明しています。



参照

プリントに関する制限については、補足情報とあわせて、『ユーザーズガイド 運用編』の「7.2 プリントに関する事項」を参照してください。

# 本書の使い方

本書は、Print Serverやネットワークの設定、およびクライアントソフトウェアのインストール方法などを記載しています。

## 本書の構成

本書の構成は、以下のとおりです。

### ■ 1 ネットワークとPrint Serverの設定 (P.21)

Print Serverのネットワークの環境設定、およびServerManagerの環境設定について説明しています。

### ■ 2 クライアントコンピューターの設定 (P.59)

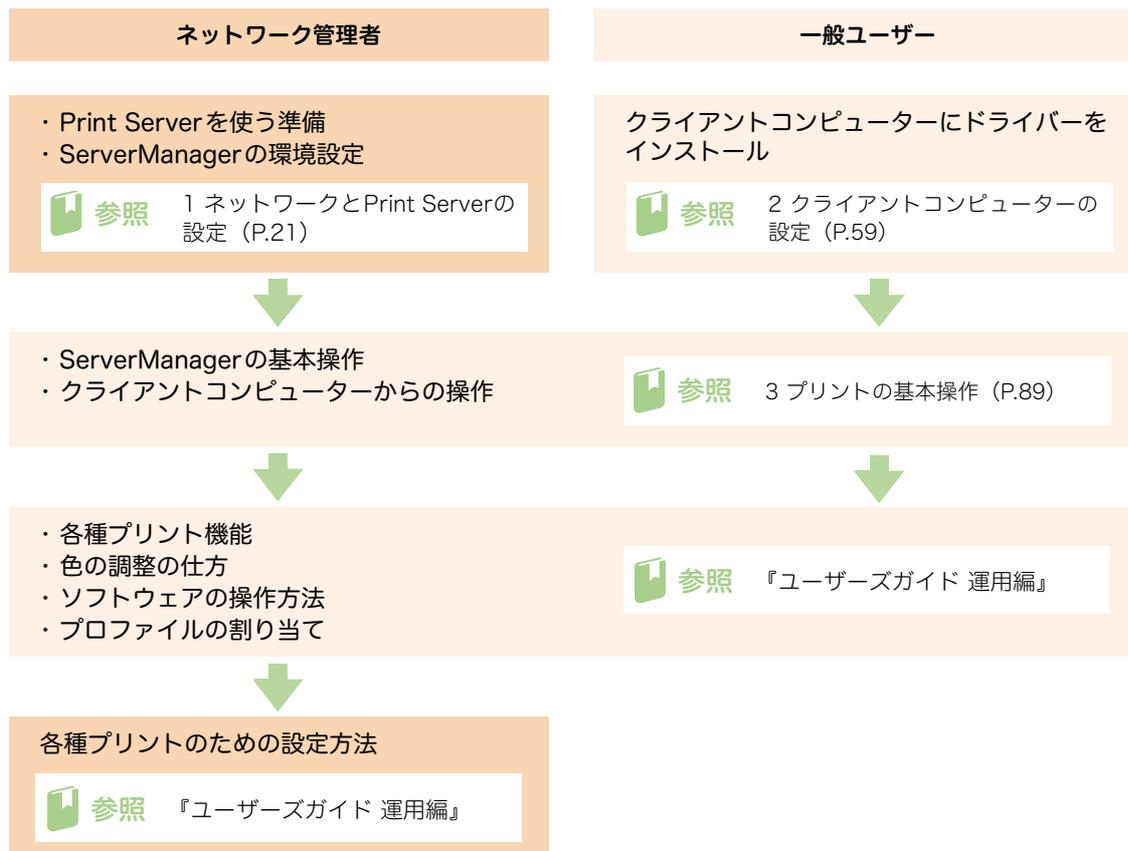
プリンタードライバーなど、クライアントコンピューターが使うソフトウェアのインストール方法について説明しています。

### ■ 3 プリントの基本操作 (P.89)

プリントの流れとPrint Serverの基本的な操作について説明しています。

## ユーザー別の活用方法

ネットワーク管理者と一般ユーザーでは、活用方法が異なります。



## 本書の表記

本文中では、説明する内容によって、以下のマークを使用しています。

 **補足** 補足事項を記載しています。

 **参照** 参照先を記載しています。

本文中では、以下の記号を使用しています。

- 「 」 フォルダー、ファイル、アプリケーション、CD/DVD/USB、機能などの名称や入力文字などです。また、マニュアル内にある参照先です。
- 『 』 参照するマニュアルです。
- [ ] コンピューターのメニュー、コマンド、画面（ウィンドウやダイアログボックス）とそれらに表示されるタブ、ボタン、メニュー、項目などの名称です。
- メニュー、フォルダーの選択順序です。[メニュー名] → [メニュー名]（フォルダーの場合は、「{フォルダー名}」 → 「{フォルダー名}」）のように記載しています。
- > プリントオプションの表示順序です。[項目名] > [項目名] のように記載しています。プリントオプションについては、『ユーザーズガイド 運用編』の「4.1 ジョブを編集する（プリントオプション項目）」を参照してください。
- { } ユーザーやサーバーの名称など、任意の文字を表します。ユーザー名を表すときは、{ユーザー名}のように記載しています。
- < > キーボードのキーです。
-  フォルダーを表します。
-  ファイルを表します。

本文中では、以下の文章表現を使用しています。

- ・「\*」は任意の数字です。
- ・OSがMac OS Classic (9. \*) のクライアントコンピューターを「Mac OS Classic クライアント」、OS X、およびmacOSのクライアントコンピューターを「macOSクライアント」と記載しています。「Mac OS Classicクライアント」と「macOSクライアント」を合わせて、「Macintoshクライアント」と記載しています。
- ・OSがMicrosoft® Windows®のクライアントコンピューターを「Windowsクライアント」と記載しています。
- ・特に注釈がない限り、シアンは「C」、マゼンタは「M」、イエローは「Y」、ブラックは「K」、レッドは「R」、グリーンは「G」、ブルーは「B」と記載しています。

本書では、Microsoft Windows 10の画面で説明しています。ご使用のOSによっては、メニューや項目などの名称が異なることがあります。

本書では、一部を除いてデフォルトの画面で説明しています。説明のために、デフォルトでない画面を使用している場合は、補足で明記しています。

本書に記載されている画面やPrint Serverのイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OSのバージョンによって異なることがあります。

本書の内容は、本書の制作時点のものです。本書に記載されている画面やイラスト、お問い合わせ先の窓口、Webサイトのアドレスなどは、将来予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

 **参照** わからない用語があったときは、『ユーザーズガイド 運用編』の「7.5.2 用語集」を参考にしてください。

## 商標について

- Apple、AppleTalk、Bonjour、LaserWriter、Macintosh、Mac、macOS、OS X、および Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、Adobe PDF、Adobe PDF Print Engine、Illustrator、InDesign、PostScript、および Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Microsoft、Internet Explorer、Windows、および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Netscape は、AOL Inc. の登録商標です。
- Firefox は、Mozilla Foundation の登録商標です。
- UNIX は、The Open Group の米国、およびその他の国における登録商標です。
- QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- 接続するプリンターのソフトウェアには、Independent JPEG Group で作成されたコードの一部を利用しています。
  
- その他の社名、または商品名等は各社の登録商標または商標です。
- Xerox、Xerox ロゴ、および Fuji Xerox ロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。
- ApeosPort、および DocuPrint は、富士ゼロックス株式会社の登録商標または商標です。

# Print Serverの機能紹介

## 色を管理し忠実に再現する

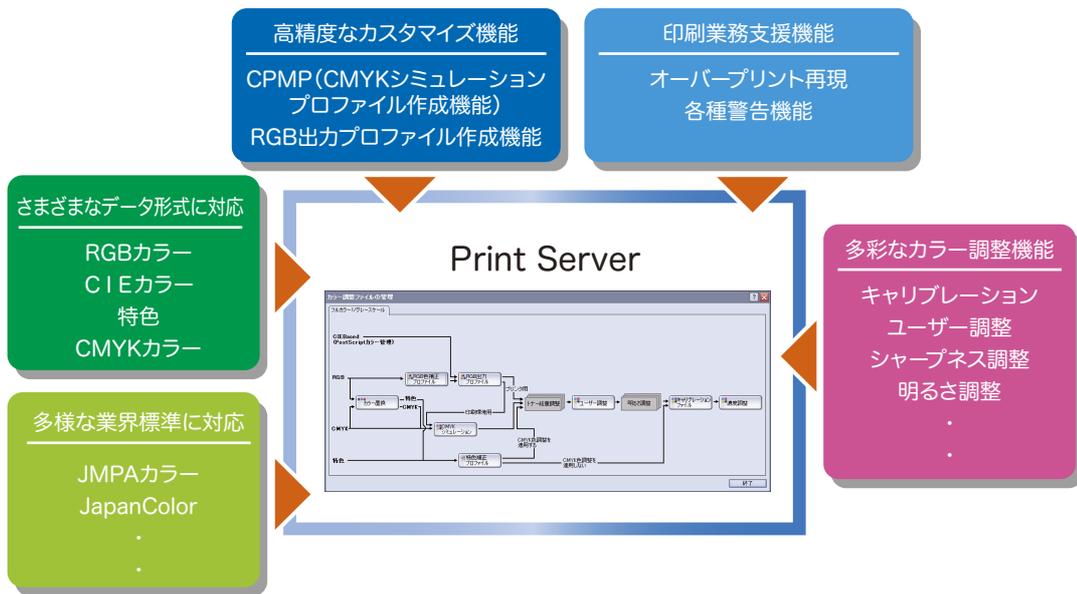
RGB、CIE、特色、CMYKなどのさまざまなデータ形式に対応しており、一般のオフィスワークで作成する提案資料のプリントから、カタログ、ポスターデザインなどのプロフェッショナルデザインワークで行われる校正プリントまで強力なCMS（Color Management System）でサポートします。

各種カラーワークフローで使用されるプロファイル作成や登録機能だけでなく、最終プリント直前での色の微調整（ユーザー調整カーブ）や簡易的な画質調整（明るさ調整、濃度調整、シャープネス調整）もできます。プリンター自体の設置環境や経時劣化による色再現のずれを修正し、安定した色再現を実現させる高機能なキャリブレーションも用意されています。



参照

詳細は、『ユーザーズガイド 運用編』の「2色の調整と管理」、「4.1.5画質」を参照してください。



## 事前に印刷機での印刷状態を確認する

オフセット印刷の入稿前にはデザインやレイアウトのチェックが必要です。

印刷機での印刷用データである分版出力のデータも色補正されたカラーでプリントできます。

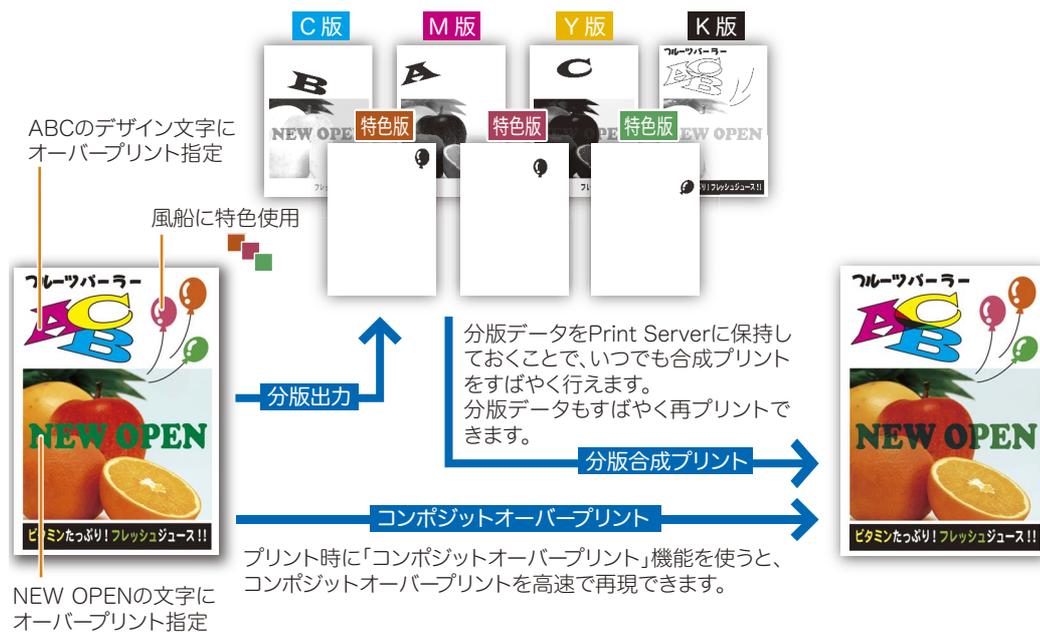
分版出力を使わない一般的なプリント方法（コンポジットプリント）でもコンポジットオーバープリント機能を使うと、オーバープリントが再現できるので、より効率的に印刷入稿前のチェックができます。

2色印刷シミュレーション機能を使うと、Print Serverで特色の置き換えを自動で行い、プリンターでの確認が困難だった2色印刷原稿の確認プリントも簡単にできます。

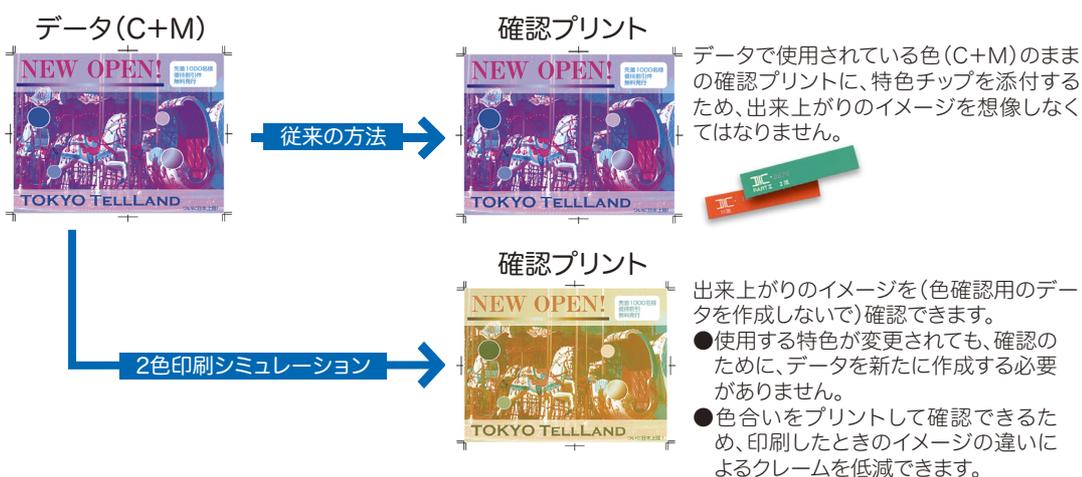


参照 詳細は、『ユーザーズガイド 運用編』の「1.1.1 分版出力の合成（色分版の合成）」、「1.1.2 2色印刷シミュレーション」、「4.1.5 画質」を参照してください。

## ■色分版の合成



## ■2色印刷シミュレーション



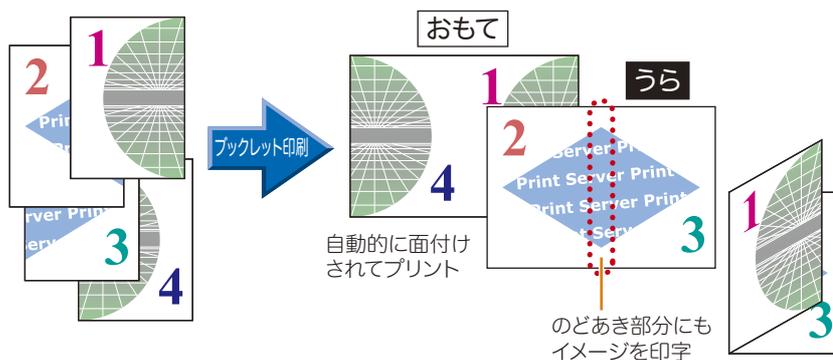
## さまざまなレイアウトを作成する

フォーム用のファイルに別のファイルを重ね合わせてプリントする差込印刷機能、自動で面付けと両面印刷を行い、手軽に企画書やパンフレットを中とじの冊子にできる小冊子作成機能、Print Serverに保存された別々のジョブを連結して、1つのジョブとしてプリントできるビルドジョブ機能などの多彩なプリント方法を備えています。

ビルドジョブでは、サムネイル編集機能を使って、プレビューでページを確認しながらページ順の変更、ジョブの追加や削除ができます。

 **参照** 詳細は、『ユーザーズガイド 運用編』の「1.2 さまざまな割り付け方法でプリントする」を参照してください。

### ■小冊子の作成



## 印刷トラブルを防止する

プリンターでプリントして確認するときには気付きにくく、印刷機での印刷時にトラブルになる入稿データの問題がいろいろとあります。RGB警告、ヘアライン警告、オーバープリント警告、特色警告、インキ総量警告といった警告機能を使うことで、これらの問題をプリンターでのプリント時に紙面で確認できます。

プリントしないでデータをチェックするには、プリフライト機能を使います。データ内で使用されている色空間、フォント、特色などをリストで確認できます。



参照

詳細は、『ユーザーズガイド 運用編』の「1.1.3 画像警告機能」、「1.1.4 プリフライト」を参照してください。

### ■ RGB警告

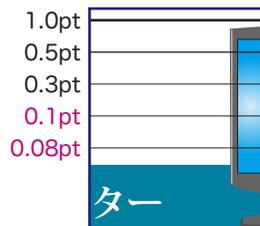


通常プリント

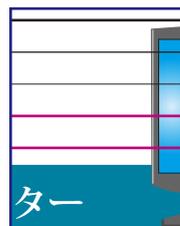


警告オンでプリント

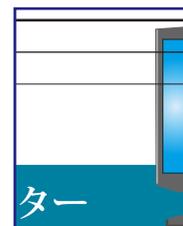
### ■ ヘアライン警告



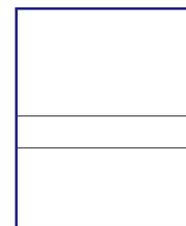
通常プリント



警告オンでプリント  
(警告色)



警告オンでプリント  
(消去)



警告オンでプリント  
(抽出)

---

## プリントデータの受け渡しやプリントの作業を効率化する

---

メールプリント機能を使って、ジョブをほかのPrint Serverに直接転送できます。

メールの送受信やネットワークへのアップロードはPrint Serverで一括管理できるので、校正作業のプロセスで赤入れ原稿をやり取りする場合、遠隔地へのカラーデータのやり取りにかかるコストの削減、時間の削減による効率化を実現できます。

DropUtilityでは、プリントオプションの設定を用途別にセットしてファイルとして保存でき、用途に合った設定ファイルにデータをドラッグ&ドロップするだけでプリントできます。毎回ファイルを開いてプリントオプションの設定をする必要がないため、設定ミスや設定の手間がなくなり、プリント作業を効率化できます。

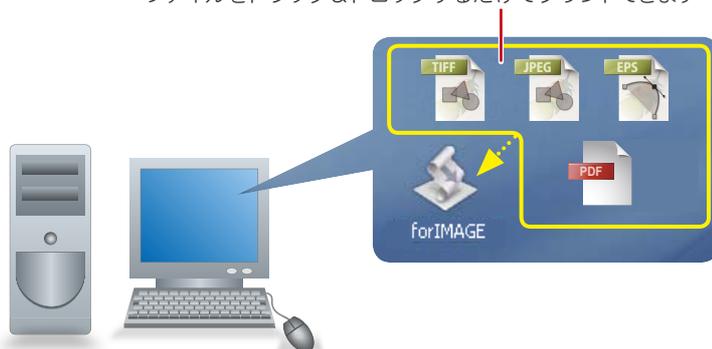


参照

詳細は、『ユーザーズガイド 運用編』の「3.5 ファイルを送受信する、転送する」、「5.1 DropUtility」を参照してください。

### ■ DropUtility

ファイルをドラッグ&ドロップするだけでプリントできます



## プリンターやジョブを管理する

Print Serverにはプリンターやジョブを管理するためのソフトウェアが用意されています。

ソフトウェアを活用すると、プリンターの消耗品の確認や、ジョブの管理、設定変更、情報の参照などができます。



参照 詳細は、『ユーザーズガイド 運用編』の「3.1 ServerManager について」、「5.2 WebManager」を参照してください。

### ■ ServerManager

ServerManagerは、プリンターやジョブの管理、設定変更を行います。

エラーが発生したジョブや、スプールされているジョブがわかりやすく表示されます。

ServerManagerはPrint Serverだけでなく、クライアントコンピューター（Windows）にインストールしても使用できます。

## ■ WebManager

Print ServerとTCP/IP接続されたクライアントコンピューターのWebブラウザではWebManagerが使えます。

このソフトウェアでは、Web経由でジョブの設定変更やプリント指示、各種プロファイルの確認ができます。

Webブラウザを使用するため、クライアントコンピューターに専用のアプリケーションをインストールする必要がありません。

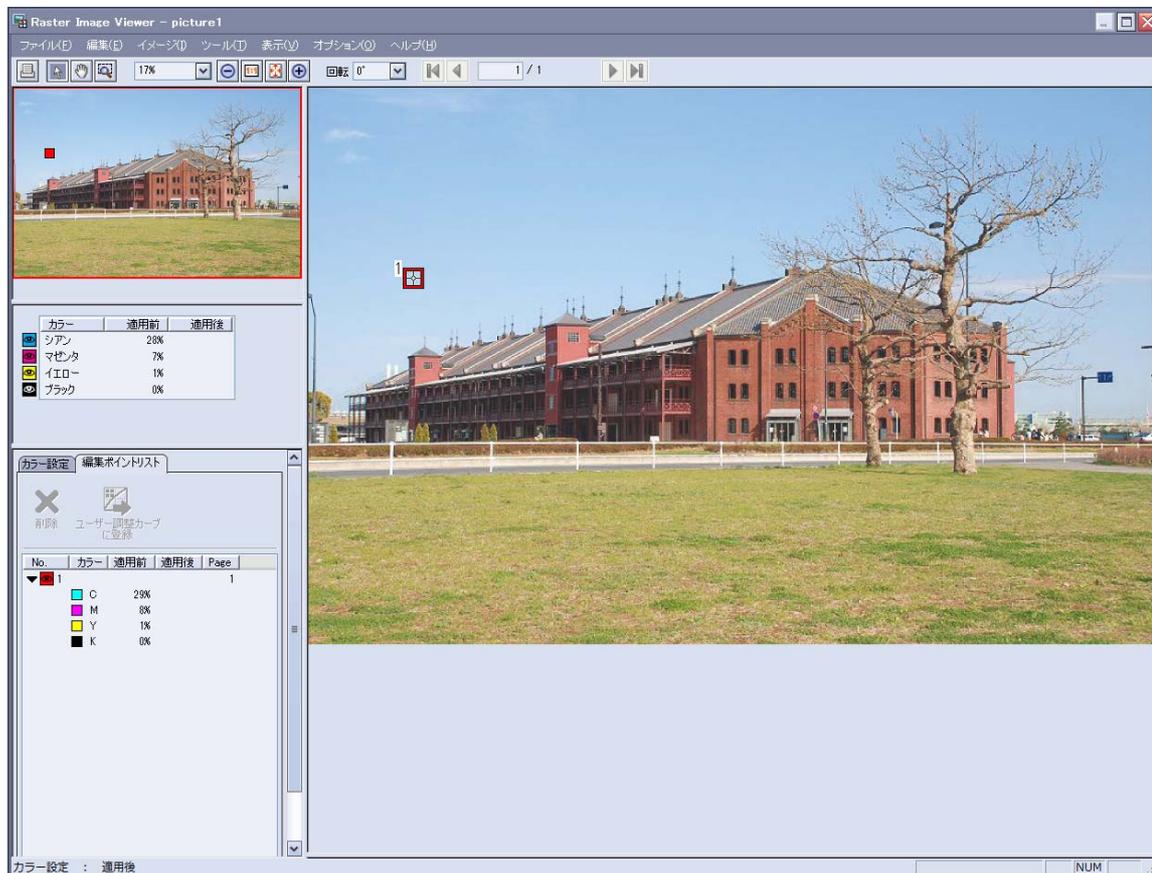


## プレビューを確認しながらジョブを編集する

Raster Image Viewerを使用すると、Print Serverに保持されているジョブのプレビュー画像を表示させて、調整前と調整後のイメージを確認しながらジョブを編集できます。また、ユーザー調整カーブと明るさの調整ができます。

 **参照** 詳細は、『ユーザーズガイド 運用編』の「3.4 Raster Image Viewerを使用する」を参照してください。

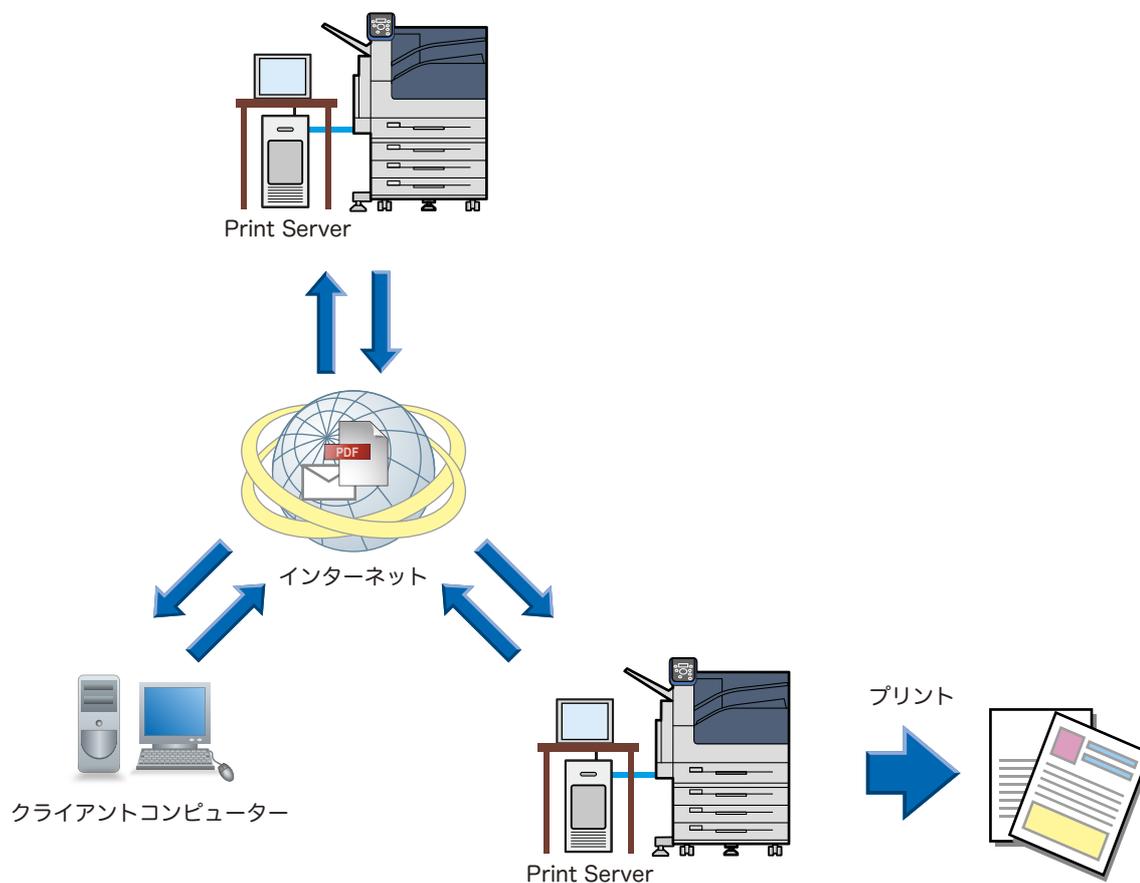
### ■ Raster Image Viewer



## 赤入れ校正を相手先に送信・自動プリントする

依頼先・制作会社などが互いに遠隔地にある場合でも、赤入れ校正などをカラーでタイムリーに伝達できます。登録しておいたメールアドレスに、データを添付ファイルとして送信できます。また、データをリモートのPrint Serverに送信したり、メールを受信してそのまま自動でプリントしたりできます。

 **参照** 詳細は、『ユーザーズガイド 運用編』の「3.5 ファイルを送受信する、転送する」を参照してください。



## APPEでRIP処理する

レンダリングエンジン（RIP用ソフトウェア）としてAPPE（Adobe® PDF Print Engine）を使用することもできます。

従来のCPSI（Configurable PostScript Interpreter）では、透明効果やレイヤー機能を含むPDFファイルをプリントするとき、RIP前にいったんPostScriptファイルに変換し、透明部分やレイヤー部分を分割、統合してプリントしていたため、出力イメージにズレが発生することがありました。

APPEでは、PostScriptに変換しないで、そのままRIP処理するため、透明効果やレイヤー機能などの情報が欠落することなく、より高速で、高品質な出力ができます。

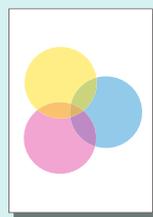
APPEは、ファイルタイプがPDFで、サムネール編集情報を保持していないジョブのときだけ設定できます。



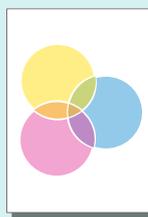
参照

この機能はオプションです。DTP機能拡張キットのライセンスを設定していない場合、APPEでのプリントはできません。  
ライセンスの設定については、「ライセンスの設定」(P.52)を参照してください。

### CPSIを使用したRIP処理



透明効果やレイヤー機能を含むPDFファイル

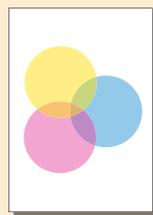


PostScriptファイルに変換



レンダリング

### APPEを使用したRIP処理



透明効果やレイヤー機能を含むPDFファイル



レンダリング

## 特色を管理する

任意の色を特色として登録できます。

登録した色は、以降のジョブから特色として使用できます。さらにPrint Serverに登録されている特色は、名前や値の変更、色見本のプリントができます。また、デフォルトで登録されている特色の値をカスタマイズして再登録することもできます。



参照

詳細は、『ユーザーズガイド 運用編』の「2.8 特色を設定する」を参照してください。

DIC 101	DIC 102	DIC 103*	DIC 104*	DIC 105*
DIC 106*	DIC 107*	DIC 108*	DIC 109*	DIC 110*
DIC 111	DIC 112	DIC 113	DIC 114	DIC 115
DIC 116	DIC 117*	DIC 118*	DIC 119*	DIC 120*
DIC 121*	DIC 122*	DIC 123*	DIC 124	DIC 125
DIC 126	DIC 127	DIC 128*	DIC 129*	DIC 130*
DIC 131*	DIC 132*	DIC 133*	DIC 134*	DIC 135*
DIC 136	DIC 137	DIC 138	DIC 139	DIC 140
DIC 141	DIC 142*	DIC 143*	DIC 144*	DIC 145*
DIC 146*	DIC 147*	DIC 148	DIC 149*	DIC 150*



# ネットワークとPrint Serverの設定

---

Print Serverのネットワークの環境設定、およびServerManagerの環境設定について説明しています。

1.1	Print Serverの設定をする.....	22
1.1.1	TCP/IPの設定.....	22
1.1.2	Windowsのアカウント管理.....	25
1.2	ServerManagerにログインする.....	27
1.2.1	ログイン/ログオフ.....	27
1.2.2	ユーザー管理.....	28
1.3	AppleTalk設定ツールについて.....	31
1.3.1	AppleTalkプロトコルの設定.....	31
1.3.2	共有フォルダの設定.....	33
1.4	論理プリンタを作成する.....	35
1.5	ServerManagerの設定をする.....	39
1.5.1	プリントオプションテンプレートの設定.....	39
1.5.2	ServerManagerの環境設定.....	45
1.5.3	作業用フォルダの設定.....	53
1.6	設定情報をバックアップする.....	56

## 1.1 Print Server の設定をする

Print Serverを使用するためには、ネットワーク環境の設定が必要です。

Print Serverを起動したら、TCP/IPアドレスの設定とWindowsのアカウントの設定をします。また、システムを再インストールした場合も、ネットワーク環境を再設定してください。



参照

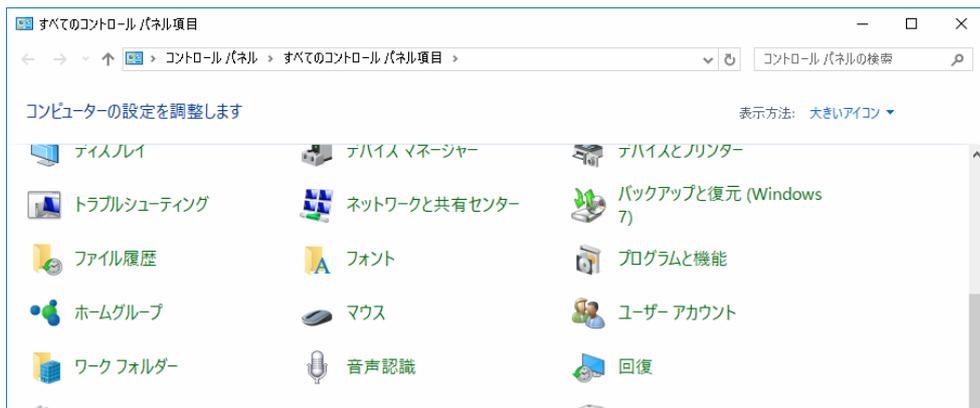
Print Serverのセットアップについては、『ユーザーズガイド セットアップ編』を参照してください。

### 1.1.1 TCP/IP の設定

TCP/IPの設定を始める前に、以下の点を確認してください。

- ・ Print ServerのIPアドレスが固定IPアドレスである（動的割り当てでない）こと
- ・ 有効なアドレス情報（IPアドレス、サブネットマスク番号など）をネットワーク管理者から確認済みであること

1. Windows の [スタート] → [Windows システムツール] → [コントロールパネル] を選択します。
2. [ネットワークと共有センター] をクリックします。



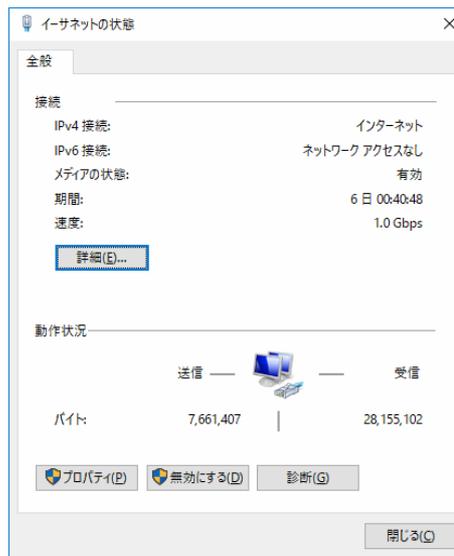
3. [イーサネット] をクリックします。



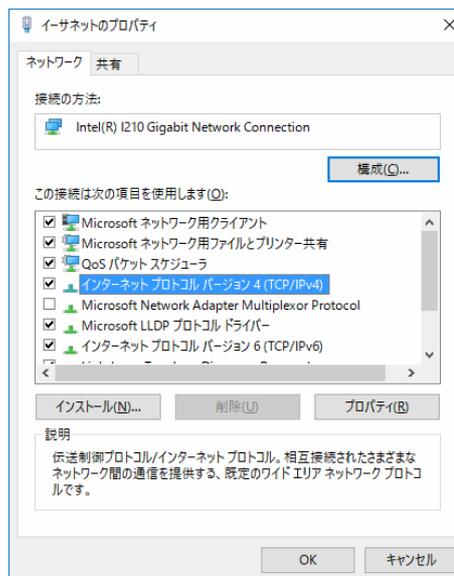
補足

LANに接続するネットワーク用のケーブルは、Print Server本体背面のネットワークポート1（上段）に接続します。

#### 4. [プロパティ] をクリックします。

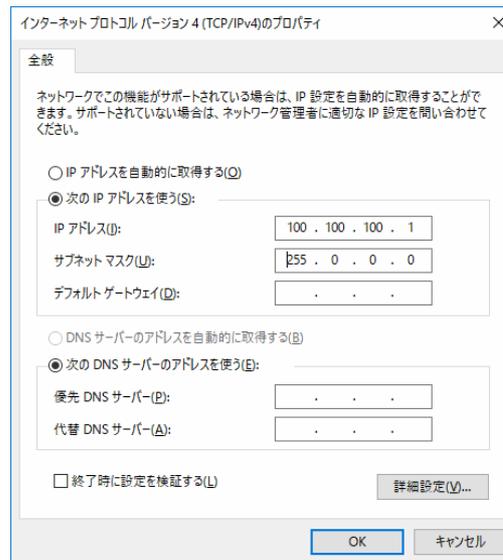


#### 5. コンポーネントの [インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)] をダブルクリックします。



 **補足** Print Serverは IPv6 には対応していません。

6. [次のIPアドレスを使う] を選択し、[IPアドレス] に Print Server の IP アドレスを入力します。



必要に応じて、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、およびDNSのアドレスを入力します。

 **補足** 複数のネットワークに別々のデフォルトゲートウェイを設定した場合、通信エラー（データのやり取りが正しく行えない）が発生することがあります。デフォルトゲートウェイは、どちらか1つにだけ設定してください。

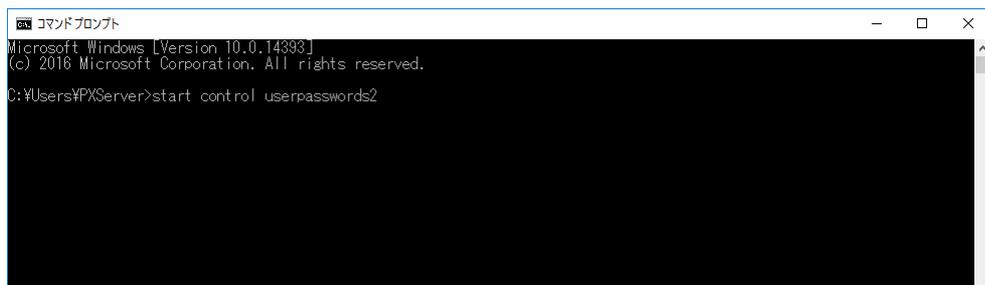
7. [OK] をクリックします。
8. [イーサネットのプロパティ] ダイアログボックスで、[OK] をクリックします。  
Print Server で TCP/IP が有効になります。

## 1.1.2 Windowsのアカウント管理

サーバー管理への不正アクセスを防止するために、管理者権限のあるユーザーのパスワードを設定します。パスワードを設定すると、Print Serverの起動時にWindowsのサインインダイアログボックスで、パスワードの入力が必要になります。

 **補足** Print Serverには、Windowsに管理者権限のあるユーザーでサインインする必要があります。

1. Windowsの [スタート] → [Windowsシステムツール] → [コマンドプロンプト] を選択します。
2. 「start control userpasswords2」と入力し、〈Enter〉キーを押します。



3. [ユーザー アカウント] ダイアログボックスの [このコンピューターのユーザー] で、管理者権限のあるユーザーを選択し、〈Ctrl〉キーと〈Alt〉キーを同時に押しながら、〈Delete〉キーを押します。



4. [パスワードの変更] をクリックします。  
[パスワードの変更] ダイアログボックスが表示されます。
5. [古いパスワード] に既存の管理者権限のあるユーザーのアカウントのパスワードを入力し、[新しいパスワード] に管理者権限のあるユーザーのアカウントの新しいパスワードを入力します。

 **補足** 管理者権限のあるユーザー（「PXServer」）のパスワードのデフォルトは、「n01\_printserver」です。

6. 確認のため [新しいパスワードの確認入力] に同じパスワードを入力します。
7. [OK] をクリックします。
8. [ユーザーアカウント] ダイアログボックスで、[OK] をクリックします。  
「PXServer」アカウントのパスワードの変更が有効になります。  
続いて、使用するネットワークに応じて、環境を設定します。



参照

パスワード変更については、Windowsのオンラインヘルプを参照してください。

## 1.2 ServerManagerにログインする

ServerManagerの設定をする場合は、管理者モードでログインする必要があります。  
ServerManagerにログイン/ログオフする手順と、ユーザー管理について説明します。

### 1.2.1 ログイン/ログオフ

#### 手動でのログイン/ログオフ

##### ◆ ログオフ状態からログインする場合

1. ServerManagerの  [ログイン]、または [システム] → [ログイン] を選択します。
2. [ログイン] ダイアログボックスで、[管理者]、または [一般ユーザー] を選択します。



3. パスワードを入力し、[OK] をクリックします。

 **補足** 管理者、および一般ユーザー用パスワードは、ServerManager の [ユーザー管理] に表示される、[Administrator]、および [Users] のパスワードと同じです。  
パスワードのデフォルトは、「aaaaa」です。

##### ◆ ログオフする場合

ServerManager の  [ログオフ] (管理者モードのとき)、 [ログオフ] (一般ユーザーモードのとき)、または [システム] → [ログオフ] を選択します。

ログオフしても、ServerManagerは終了されません。

 **補足**

- ・ ServerManagerを終了する場合は、[システム] → [終了] を選択してください。
- ・ ServerManagerを終了しても、Fuji Xerox Print Server Service が起動している間は、クライアントコンピューターからのプリント、およびWebManagerなどは処理されます。
- ・ Print Serverを停止するときは、Windowsの [スタート] →  [電源] → [シャットダウン] を選択し、Windowsをシャットダウンします。

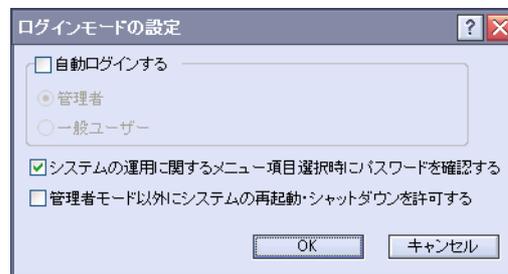
## ServerManager 起動時の自動ログイン

ServerManagerが起動したときに、選択したモードで自動でログインするように設定します。  
システムの運用に関するServerManagerの操作を管理者だけが行えるように設定します。



- ・自動ログインできる「管理者」は、「Administrator」です。
- ・自動ログインの設定は、Print ServerのServerManagerでだけ設定できます。
- ・ServerManagerに管理者、および一般ユーザーモードでログインしているときは、ServerManagerの左上のサーバー名横に「管理者モード」、および「一般ユーザーモード」と表示されます。ログインしていないときは、「ログオフ」と表示されます。

1. ServerManagerの [システム] → [初期設定] → [その他の設定] を選択します。  
[パスワード確認]ダイアログボックスが表示された場合は、管理者用パスワードを入力し、[OK]をクリックします。
2. ServerManagerを起動時に自動ログインする場合は、[自動ログインする]にチェックマークが付いていることを確認し、ログインするモードを選択して、[OK]をクリックします。



- **システムの運用に関するメニュー項目選択時にパスワードを確認する**  
チェックマークを付けると、システムの運用に関するメニュー項目を選択したときに、管理者用パスワードが要求されます。
- **管理者モード以外にシステムの再起動・シャットダウンを許可する**  
チェックマークを付けると、管理者モード以外でのシステムの再起動とシャットダウンが許可されます。

### 1.2.2 ユーザー管理

ServerManagerにログインするための管理者、および一般ユーザー用パスワードを変更します。

また、[ユーザー管理] ダイアログボックスのWebセキュリティの設定内容によっては、WebManagerを利用するユーザーをServerManagerに登録しておく必要があります。

#### ユーザーの追加

1. ServerManagerの [管理] → [ユーザー管理] を選択します。

## 2. [追加] をクリックします。



リストには、Administrator、Users、および登録済みのユーザーが表示されます。



補足

- ・アカウントに登録済みの Administrator と Users は特別なユーザーです。ServerManager にログインする場合や [パスワード確認] ダイアログボックスが表示された場合には、Administrator、および Users のパスワードを使用します。
- ・ Administrator、および Users のパスワードを変更する方法については、「登録したユーザーの変更」(P.30) を参照してください。

### ● Webセキュリティ

WebManagerでのジョブに対する操作を制限できます。ここでの選択は、Administrator以外の登録されているユーザーすべてに対して適用されます。

#### 全て操作可

自分のジョブだけでなく、ほかのジョブに対しても操作できます。ジョブの移動などもできます。

#### ジョブのオーナーのみ操作可

自分のジョブに対してだけ操作できます。

#### 全て操作不可

ジョブに対する操作は一切できません。

## 3. 各項目を設定し、[OK] をクリックします。

複数のユーザーを登録する場合は、登録する人数分だけ手順2～3を繰り返します。

### ● ユーザー名

登録するユーザー名を入力します。ユーザー名は、WebManagerにログインするときに使用します。

[Webセキュリティ] で、[ジョブのオーナーのみ操作可] を選択している場合は、ここで登録したユーザー名でWebManagerにログインしているときだけ、そのユーザーが所有するジョブを操作できます。



補足

入力する文字は、大文字と小文字が区別されます。

- パスワード

登録するユーザーのパスワードを入力します。パスワードは、WebManagerのログインに使用します。

- パスワード確認

[パスワード] と同じパスワードを入力します。

- 説明

必要に応じて入力します。入力した内容は、[ユーザー管理]ダイアログボックスに表示されます。

4. [ユーザー管理] ダイアログボックスで、[OK] をクリックします。

---

## 登録したユーザーの変更

---

1. ServerManagerの [管理] → [ユーザー管理] を選択します。
2. [ユーザー管理] ダイアログボックスで、リストから変更するユーザーを選択し、[変更] をクリックします。
3. [ユーザー編集] ダイアログボックスで、追加と同様に項目を編集します。



- ・ユーザー名は変更できません。
- ・パスワードのデフォルトは、「aaaaa」です。

---

## 登録したユーザーの削除

---

1. ServerManagerの [管理] → [ユーザー管理] を選択します。
2. [ユーザー管理] ダイアログボックスで、リストから削除するユーザーを選択し、[削除] をクリックします。
3. 確認のダイアログボックスで、[はい] をクリックします。



- AdministratorとUsersは削除できません。

## 1.3 AppleTalk設定ツールについて

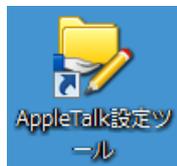
Print ServerがMacintoshクライアントからのジョブを受信するためには、AppleTalk設定ツールでの設定が必要です。

 **補足** AppleTalk 設定ツールを使用するには、Windows に管理者権限のあるユーザーでサインインする必要があります。

### 1.3.1 AppleTalkプロトコルの設定

AppleTalkプリンターや、AppleTalkによるAFP（Apple Filing Protocol）サービスを使用する場合は、以下の設定が必要です。

1. Print Serverデスクトップの「AppleTalk設定ツール」アイコンを右クリックし、[管理者として実行] を選択します。

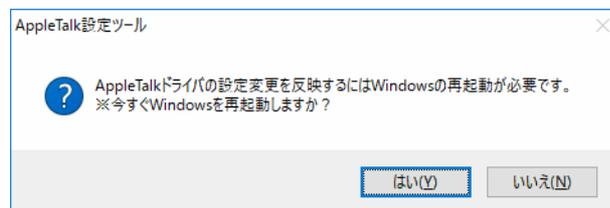


AppleTalk設定ツールが起動します。

2. 各項目を設定し、[OK] をクリックします。

 **参照** AppleTalk 設定ツールの各項目については、「[AppleTalk 設定ツール] ダイアログボックス」(P.32) を参照してください。

3. [はい] をクリックします。



Print Serverが再起動します。

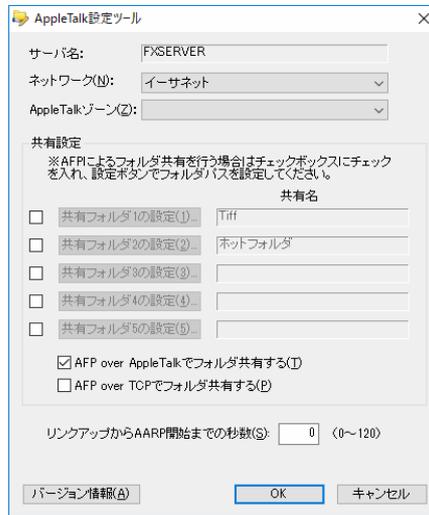
 **補足** ・設定内容によっては、ダイアログボックスが表示されないことがあります。  
・[いいえ] をクリックした場合、変更した設定は再起動するまで有効になりません。

Print Serverが所属するAppleTalkのゾーンが設定されます。



## [AppleTalk設定ツール] ダイアログボックス

以下の項目を設定できます。



### ■ サーバ名

AppleTalk ネットワークで表示される Print Server のコンピューター名が表示されます。



**補足** [サーバ名] を変更する場合は、Print Server のコンピューター名を変更してください。

### ■ ネットワーク

AppleTalk プロトコルで接続するためのネットワークポートを設定します。  
有効なネットワークを選択します。



**補足** AppleTalk プロトコルは、Print Server 本体背面のネットワークポートの上段（イーサネット）、または下段（イーサネット2）のどちらか片方のポートで通信できます。

### ■ AppleTalk ゾーン

[ネットワーク] で設定されたネットワークポートで、AppleTalk ゾーンが検出された場合にゾーンが表示されます。

メニューに複数のゾーンがある場合は、使用するゾーンを選択します。

### ■ 共有設定

#### ● 共有フォルダ1～5の設定

共有するローカルフォルダーの有効/無効を設定します。チェックマークを付けると、フォルダーが有効になります。設定できるフォルダーは最大5個です。デフォルトでは、以下のフォルダーが設定されています。

#### 共有フォルダ1



D:\%Fuji Xerox%\Print Server PX\work\Tiff

#### 共有フォルダ2



D:\%Fuji Xerox%\Print Server PX\work\HotFolder

フォルダーの詳細設定は、[共有フォルダ\*の設定 (\*)] をクリックして表示される [共有フォルダ\*の設定] ダイアログボックスで行います。



**参照** 共有フォルダの設定については、「1.3.2 共有フォルダの設定」(P.33) を参照してください。

### ● AFP over AppleTalkでフォルダ共有する

チェックマークを付けると、AppleTalkプロトコルでAFP共有が行われます。

Mac OS Classicクライアントから共有フォルダを使う場合も、チェックマークを付けます。



Mac OS X 10.4以降のクライアントコンピュータでは、AFP over AppleTalkはサポートしていません。AFP over TCPを使用してください。

### ● AFP over TCPでフォルダ共有する

チェックマークを付けると、TCP/IPプロトコルでAFP共有が行われます。

macOSクライアントから共有フォルダを使う場合も、チェックマークを付けます。



デフォルトでは、AFP over TCP で使用するポート番号「548」は閉じています。AFP over TCP を使用する場合は、Windows に管理者権限のあるユーザーでサインインし、Windowsの [スタート] → [Windowsシステムツール] → [コントロールパネル] → [Windowsファイアウォール] → [Windowsファイアウォールを介したアプリまたは機能を許可] で [設定の変更] をクリックし、[ファイルとプリンターの共有] と [Fuji Xerox AFP Service] の [プライベート] にチェックマークを付けてください。

### ■ リンクアップからAARP開始までの秒数

ネットワークで「スパンニング・ツリー・プロトコル (Spanning Tree Protocol)」が使用されている場合、スパンニングツリーの再構築処理とAppleTalkアドレスの割り当て、およびネットワークの検索などが重なると、必要なパケットが失われることがあります。この対策として、起動後最初のリンクアップからAARPを開始するまでの時間を入力します。入力範囲は、0～120です。



## 1.3.2 共有フォルダの設定

AFPサービスでフォルダを共有する場合は、[AppleTalk設定ツール] ダイアログボックスで、[共有フォルダ\*の設定 (\*)] (\*は1～5) をクリックして、以下の項目を設定します。

AFPサービスは、AppleTalkプロトコルとTCPプロトコルで動作します。

共有フォルダ1の設定

ゲストアクセスを許可(G)

共有するフォルダパス(P):  
D:\Fuji Xerox\Print Server P\work\Tiff      選択(S)...

共有名を別に設定(L)  
共有名(N): Tiff (27文字以内)

OK      キャンセル

### ● ゲストアクセスを許可

チェックマークを付けると、クライアントコンピュータからゲストアクセスが行われます。

チェックマークを外すと、クライアントコンピュータからのアクセス時には、ユーザー名およびパスワードの入力が必要です。ユーザー名およびパスワードは、Windowsのユーザー名およびパスワードを入力します。



ユーザー名およびパスワードによる認証には対応していないmacOSクライアントからアクセスする場合、ゲストアクセスを許可してください。

### ● 共有するフォルダパス

AFPサービスで共有するフォルダを設定します。

設定を変更するには、[選択] をクリックして表示される [フォルダの参照] ダイアログボックスで、フォルダを選択して [OK] をクリックします。

- 共有名を別に設定

チェックマークを付けたときは、[共有名] に名称を入力します。入力した共有名がクライアントコンピューターに表示されます。

チェックマークを外すと、[共有するフォルダパス] で設定したフォルダ名の先頭27バイトが共有名として設定されます。

- 共有名

[共有名を別に設定] にチェックマークを付けた場合に入力します。クライアントコンピューターからのアクセス時に表示される共有名を入力します。

## 1.4 論理プリンタを作成する

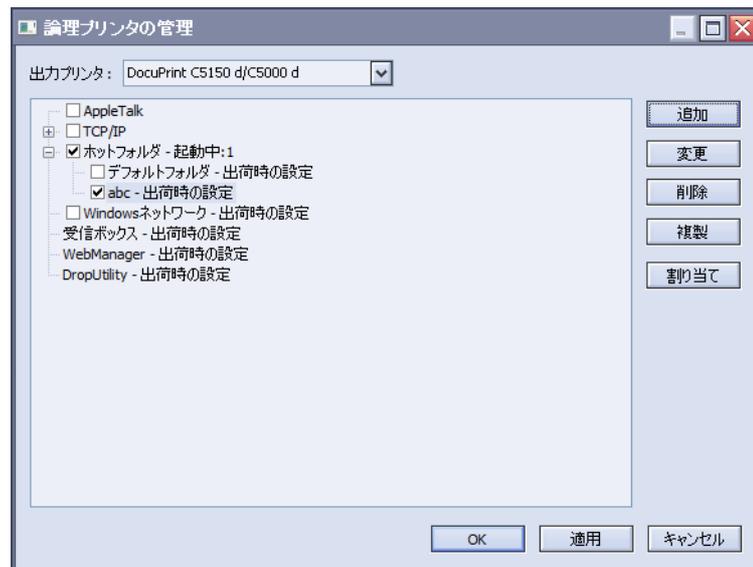
クライアントコンピューターからのジョブを受信するための論理プリンタの作成と設定について説明します。

1. ServerManagerの [論理プリンタの管理] をクリックします。



[管理] → [論理プリンタの管理] を選択しても、[論理プリンタの管理] ダイアログボックスを表示できます。

2. [AppleTalk]、[TCP/IP]、または[ホットフォルダ] を選択し、[追加] をクリックするか、[Windowsネットワーク] を選択し、[変更] をクリックします。



### ■ [論理プリンタの管理] ダイアログボックス

各クライアントコンピューターからのジョブを受信するために必要な、Print Server の設定をします。

- ◆ AppleTalk ..... 36
- ◆ TCP/IP ..... 36
- ◆ ホットフォルダ ..... 37
- ◆ Windowsネットワーク ..... 38

チェックマークを付けると、論理プリンタが起動し、起動中の論理プリンタ数が表示されます。[+] をクリックすると、個々の論理プリンタの名称とデフォルトのプリントオプションテンプレートが表示され、起動、停止できます。

#### ● 追加

各ネットワークの [論理プリンタの追加] ダイアログボックスが表示されます。

#### ● 変更

選択した論理プリンタを変更します。

#### ● 削除

選択した論理プリンタが削除されます。

誤って削除した場合は、[論理プリンタの管理] ダイアログボックスを [キャンセル] で終了すると、ダイアログボックスを開いたときの状態に戻せます。

- 複製

選択した論理プリンタが複製されます。

- 割り当て

選択した論理プリンタ、または受信ボックス/WebManager/DropUtilityに割り当てる、プリントオプションテンプレートを変更します。



参照

プリントオプションテンプレートの割り当てについては、「プリントオプションテンプレートの割り当て」(P.42)を参照してください。

3. [OK] をクリックします。

4. 論理プリンタを追加した場合、ServerManagerのネットワーク状態エリアに論理プリンタ名が表示されていることを確認します。

Macintoshクライアント、TCP/IPクライアント、またはWindowsクライアントからのジョブを受信できます。

---

## AppleTalk

---

Macintoshクライアントからのジョブを受信できます。



補足

設定できるプリンターの数、最大50です。

- 起動中

チェックマークを付けると、論理プリンタが起動します。

- プリンタ名

プリンター名を入力します。



補足

- ・プリンター名には「FXPSPX」をお勧めします。
- ・同一ゾーン、または同一ネットワーク内でプリンターを複数設定している場合は、異なるプリンター名を付けてください。

---

## TCP/IP

---

TCP/IPクライアントからのLPR/LPDジョブを受信できます。



補足

設定できるプリンターの数、最大20です。

- 起動中

チェックマークを付けると、論理プリンタが起動します。

### ● プリンタ名

プリンター名を入力します。

 **補足** プリンター名には「FXPSPX」をお勧めします。

### ● lprのコントロールファイルを無視する

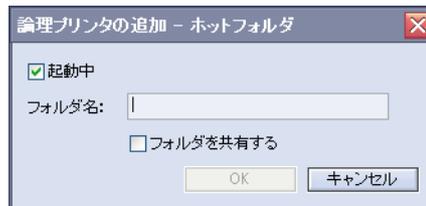
チェックマークを付けると、lprのジョブを受信するときに、コントロールファイルが無効になります。データファイルを受信しながらRIP処理をするときも、チェックマークを付けます。

 **補足**

- ・チェックマークを付けると、PostScriptファイル内の記述から所有者名、およびジョブ名が入手され、ServerManagerやプリント履歴に表示されます。
- ・UNIX®システムからlprでプリントすると、ジョブデータのうちデータファイルが先に送られ、次にコントロールファイルが送られます。この場合、Print Serverではデータファイルとコントロールファイルの両方を受信してからRIP処理が開始されますが、チェックマークを付けると、コントロールファイルを待たずに、RIP処理が行われます。
- ・PostScript/PDF/EPS/TIFF/JPEG/PPMLファイルをプリントする場合、コントロールファイルはプリント時に必要ありません。

## ホットフォルダ

ホットフォルダを利用したFTPからのジョブを受信できます。



 **補足** ・以下の作業用フォルダの下に、サブフォルダが作成されます。

 D:¥Fuji Xerox¥Print Server PX¥work¥HotFolder¥folder1

作業用フォルダについては、「1.5.3 作業用フォルダの設定」(P.53)を参照してください。  
・設定できるサブフォルダは、最大50です。

### ● 起動中

チェックマークを付けると、論理プリンタが起動します。

### ● フォルダ名

フォルダ名を入力します。

### ● フォルダを共有する

チェックマークを付けると、フォルダが共有されます。

## Windows ネットワーク

---

Windows クライアントから Microsoft Windows Network 経由でジョブを受信できます。

デフォルトでは、[FXSERVER] の名称で通信するように設定されています。

共有の設定が必要な場合に、以下の設定を行います。



補足

Windows ネットワークでの共有プリンターを使用してプリントする場合は、Print Server で、Windows に管理者権限のあるユーザーでサインインし、Windows の [スタート] → [Windows システムツール] → [コントロールパネル] → [Windows ファイアウォール] → [Windows ファイアウォールを介したアプリまたは機能を許可] で、[設定の変更] をクリックし、[ファイルとプリンターの共有] にチェックマークを付けてください。



- Windows プリンタを共有する

チェックマークを付けると、Windows ネットワーク上にあるプリンターが共有されます。

- 共有プリンタ名

共有するプリンター名を入力します。

## 1.5 ServerManagerの設定をする

ServerManagerで設定できることについて説明します。

### 1.5.1 プリントオプションテンプレートの設定

プリントオプションテンプレートを作成すると、カスタマイズしたプリントオプションの設定をジョブに適用させることができます。



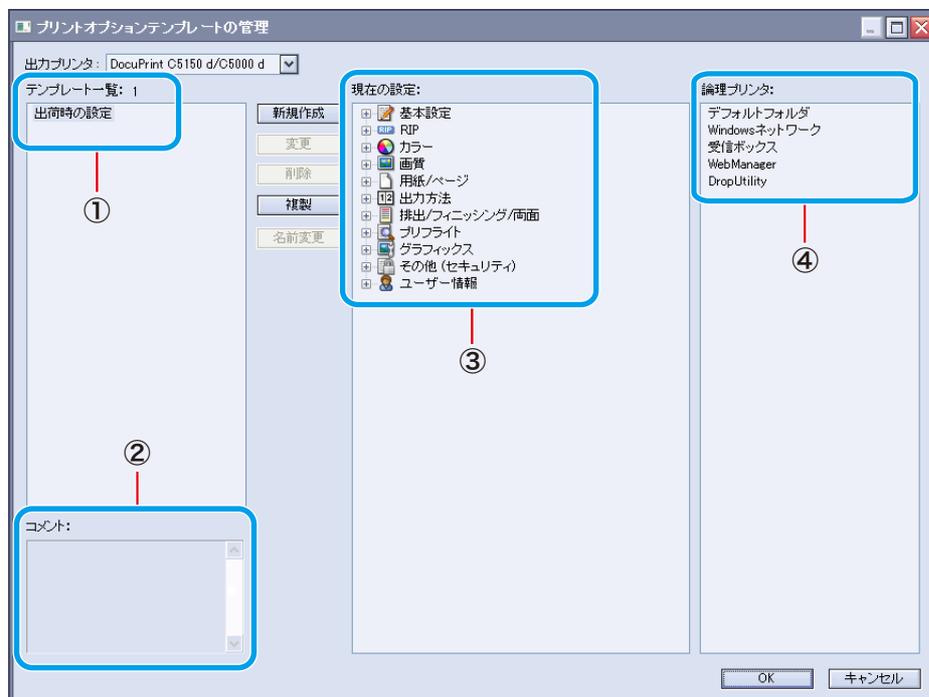
- ・プリントオプションテンプレートの新規作成、変更、削除、複製、および名前変更は、管理者モードのときに操作できます。
- ・[出荷時の設定] は、変更できません。

プリントオプションテンプレートは、以下のジョブ、または項目に適用されます。

- ・PDF/TIFF/JPEG/EPS ファイル
- ・プリンタードライバーを使用しないで作成した PostScript ファイル
- ・特別なプリンタードライバー（特別な PPD やシステムなど）からプリントする場合で、機能の設定が省略された項目

### プリントオプションテンプレートの作成

1. ServerManagerの [管理] → [プリントオプションテンプレートの管理] を選択します。  
[プリントオプションテンプレートの管理] ダイアログボックスが表示されます。



#### ①テンプレート一覧

テンプレートの一覧が表示されます。

#### ②コメント

テンプレート一覧で選択されたテンプレートに付けられたコメントが表示されます。

③現在の設定

テンプレート一覧で選択されたテンプレートの設定が、一覧で表示されます。

出荷時の設定と異なる項目は、先頭に「\*」が表示されます。

「強制上書き」([テンプレートを優先])が[する]になっている項目は、チェックマークが付いています。

④論理プリンタ

テンプレート一覧で選択されたテンプレートが割り当てられている、論理プリンタの一覧が表示されます。

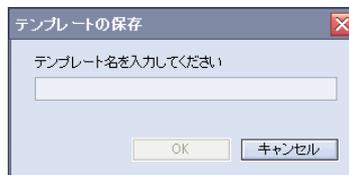
2. [新規作成] をクリックします。

3. 各項目を設定し、[OK] をクリックします。



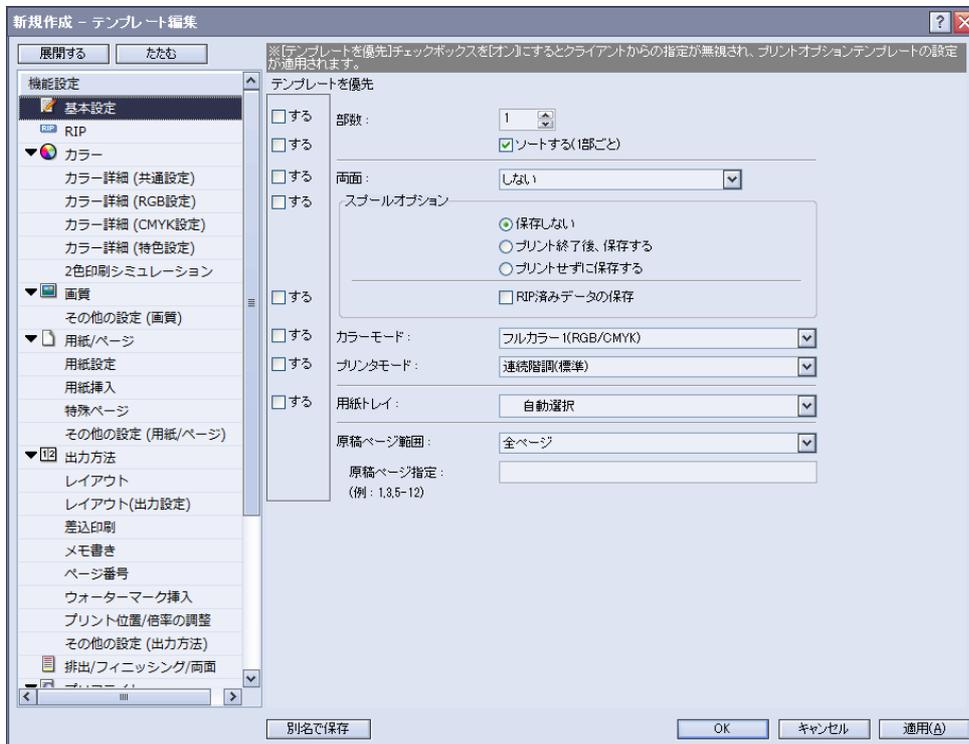
参照 各項目については、「[新規作成 - テンプレート編集] ダイアログボックス」(P.40) を参照してください。

4. テンプレート名を入力し、[OK] をクリックします。



[新規作成 - テンプレート編集] ダイアログボックス

[新規作成 - テンプレート編集] ダイアログボックスでは、プリントオプションの各項目を設定できます。



参照 プリントオプションの各項目については、『ユーザーズガイド 運用編』の「4.1 ジョブを編集する (プリントオプション項目)」を参照してください。

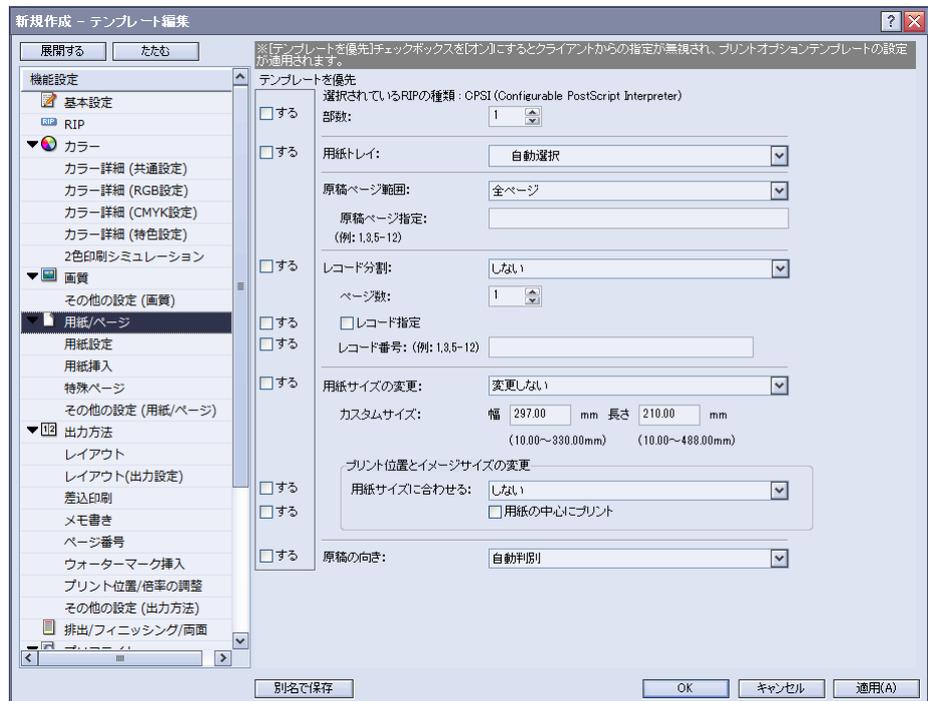
[テンプレート編集] ダイアログボックスには、以下の共通項目があります。

● **テンプレートを優先（強制上書き項目）**

[する] にチェックマークを付けると、クライアントコンピューターからの設定が無効になり、プリントオプションテンプレートの設定が適用されます。



- ・ 強制上書き項目の設定は、以下の項目よりも優先されます。
  - プリンタードライバー、DropUtility、およびWebManagerからのプリント
  - DropUtility、およびWebManagerの [ファイル中の設定またはサーバーの設定を使う]
  - ServerManagerの [ジョブ] → [ジョブ読み込み]、およびWebManagerの [アップロード] で読み込んだ、プリントオプションの設定を含むPostScriptファイル
- ・ [する] にチェックマークを付けると、ほかのプリントオプションとの組み合わせによって、設定はできても、プリント指示をするとエラーメッセージが表示され、プリントができないことがあります。
- ・ プリンタードライバーの [給紙方法] → [自動選択] でプリントした場合、[用紙/ページ] > [用紙トレイ] の設定が有効になります。
- ・ [用紙/ページ] 固有の注意事項



- [用紙サイズの変更] が [変更しない] 以外の場合は、プリンタードライバーのプリントオプションで選択した用紙サイズは無効になり、設定した用紙サイズでRIP処理されません。
- 用紙サイズは、プリントオプションで用紙サイズを設定していない場合だけ適用されません。
- [用紙サイズに合わせる] / [用紙の中心にプリント] は、[用紙サイズの変更] が [変更しない] 以外の場合だけ有効です。

● **別名で保存**

現在のプリントオプションテンプレートの設定が別名で保存されます。表示されたダイアログボックスで、名前を入力し、[OK] をクリックします。

● **適用**

現在のプリントオプションテンプレートが保存されます。



## プリントオプションテンプレートの割り当て

1. [論理プリンタの管理] ダイアログボックスを表示させます。



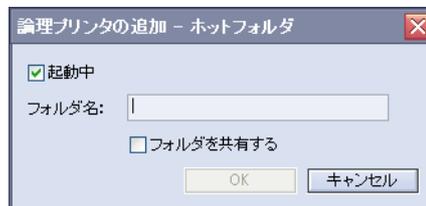
参照

[論理プリンタの管理] ダイアログボックスについては、「1.4 論理プリンタを作成する」(P.35) を参照してください。

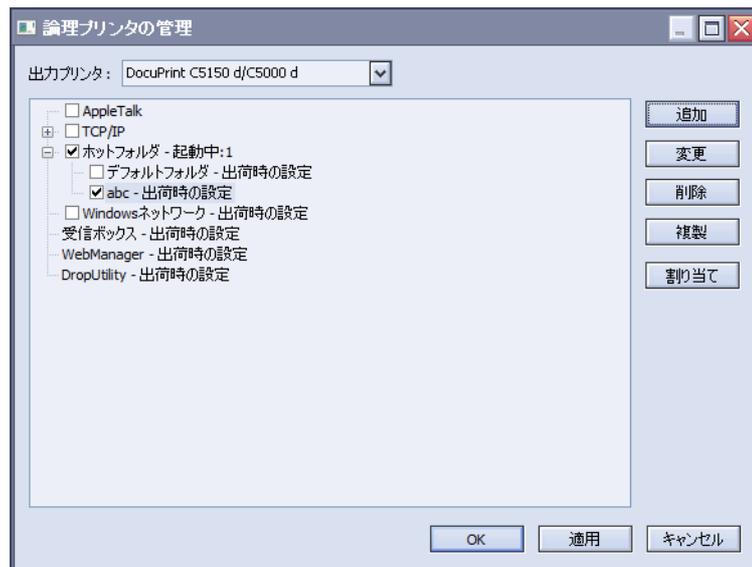
2. プリントオプションテンプレートを割り当てるネットワークを選択し、[追加] をクリックします。



3. [フォルダ名] に論理プリンタ名を入力し、[OK] をクリックします。



4. 追加した論理プリンタを選択し、[割り当て] をクリックします。



5. 作成したテンプレートを選択し、[OK] をクリックします。



6. テンプレートを割り当てたネットワークと論理プリンタに、チェックマークが付いていることを確認します。



7. [OK] をクリックします。

 **補足** プリントオプションの組み合わせによっては、設定したとおりに適用されないことがあります。

## プリントオプションテンプレートの編集

1. [プリントオプションテンプレートの管理] ダイアログボックスで、編集するプリントオプションテンプレートを選択し、[変更] をクリックします。
2. [{テンプレート名}-テンプレート編集] ダイアログボックスで、新規作成と同様に項目を編集します。

 **補足** ・ 選択しているテンプレートをダブルクリックしても[{テンプレート名}-テンプレート編集]ダイアログボックスを表示できません。  
・ デフォルトのテンプレート（「出荷時の設定」）は、編集できません。

## プリントオプションテンプレートの削除

1. [プリントオプションテンプレートの管理] ダイアログボックスで、削除するプリントオプションテンプレートを選択し、[削除] をクリックします。  
複数選択できます。
2. 確認のダイアログボックスで、[はい] をクリックします。

 **補足** ・ デフォルトのテンプレート（「出荷時の設定」）は、削除できません。  
・ 削除したテンプレートが割り当てられていた論理プリンタの設定は、デフォルトの状態になります。  
・ 複数選択した場合に、「出荷時の設定」が含まれているときは、「出荷時の設定」以外が削除されます。

---

## プリントオプションテンプレートの名前変更

---

1. [プリントオプションテンプレートの管理] ダイアログボックスで、名前を変更するプリントオプションテンプレートを選択し、[名前変更] をクリックします。
2. [テンプレート名の変更] ダイアログボックスで、新しい名前を入力し、[OK] をクリックします。

---

## プリントオプションテンプレートの複製

---

[プリントオプションテンプレートの管理] ダイアログボックスで、複製するプリントオプションテンプレートを選択し、[複製] をクリックします。

## 1.5.2 ServerManagerの環境設定

---

ServerManagerの環境をネットワーク管理者が使いやすいようにカスタマイズします。

設定は、ServerManagerのメニューから行います。

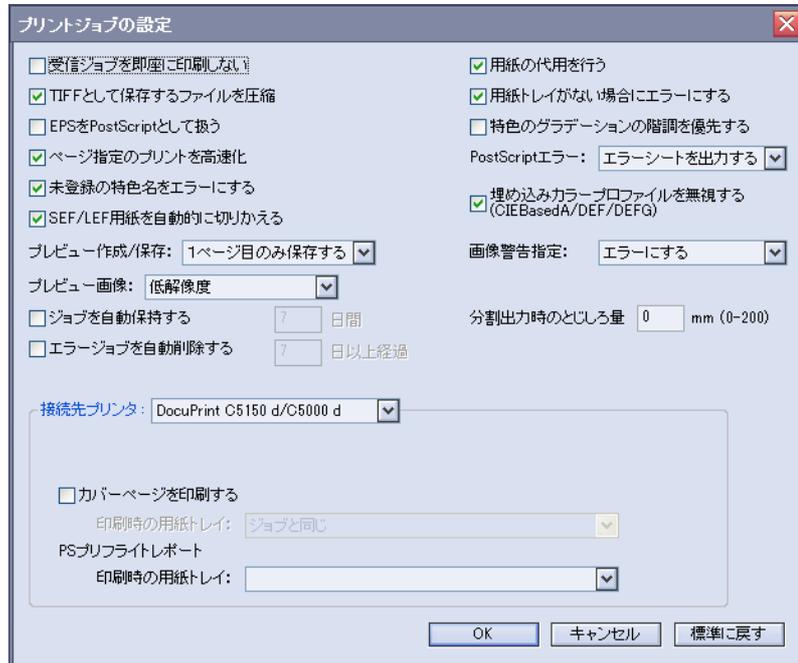
詳細は、以下の各項目の説明を参照してください。

- ・「プリントジョブの設定」(P.46)
- ・「ジョブ履歴の設定」(P.48)
- ・「ボックスの設定」(P.49)
- ・「オプションメモの設定」(P.50)
- ・「キャリブレーションの通知設定」(P.51)
- ・「ライセンスの設定」(P.52)
- ・「プリンター設定」(P.53)

 **参照** 論理プリンタの設定については、「1.4 論理プリンタを作成する」(P.35) を参照してください。

## プリントジョブの設定

ServerManager の [システム] → [プリントジョブの設定] を選択します。



### ■ 受信ジョブを即座に印刷しない

チェックマークを付けると、プリントオプションの [出力方法] > [スプールオプション] の設定に関係なく、受信したすべてのジョブが保持リストに入ります。RIP処理もされません。

### ■ TIFFとして保存するファイルを圧縮

チェックマークを付けると、TIFFファイルが圧縮されます。圧縮して保存するとファイルサイズが小さくなるので、ハードディスクの容量を節約できます。

### ■ EPSをPostScriptとして扱う

チェックマークを付けると、ファイルタイプがEPSのジョブもPostScriptとして処理されます。



補足

- ・EPSファイルをプリントする場合は、チェックマークを外してください。チェックマークを付けると、ジョブがプリントされず、消去されることがあります。
- ・チェックマークを付けると、以下の機能が無効になります。
  - タイトルのプリント
  - %%BoundingBoxを参照した場合の座標系の調整
  - showpageがない場合のプリント

### ■ ページ指定のプリントを高速化

チェックマークを付けると、プリント範囲として選択されたページだけがRIP処理されてプリントされません。



補足

Windows のプリンタードライバーの [プロパティ] → [詳細設定] → [PostScript オプション] → [PostScript出力オプション] で [印刷処理が速くなるよう最適化] にした場合、チェックマークを付けても、PostScript エラーの発生を防ぐため、高速化が無効になります。有効にするには、[エラーが軽減するよう最適化] にチェックマークを付けてください。

### ■ 未登録の特色名をエラーにする

チェックマークを付けると、Print Serverに登録されていない特色が使用されているジョブは、エラーになります。

チェックマークを外すと、アプリケーションから送信されるCMYK値でプリントされます。

## ■ SEF/LEF用紙を自動的に切りかえる

チェックマークを付けると、用紙方向が自動で切り替わります。たとえば A4L の用紙トレイしかない場合でも、A4サイズ指定でのプリント時にA4Lに割り付けてプリントされます。

## ■ プレビュー作成/保存

プレビュー用データの保存方法を、以下の項目から選択します。

- ・作成しない
- ・保存しない
- ・1ページ目のみ保存する
- ・全ページ保存する

## ■ プレビュー画像

プレビュー用データの解像度を、以下の項目から選択します。

- ・低解像度
- ・中解像度
- ・高解像度



補足

- ・ [低解像度] は300 pixel、[中解像度] は900 pixel、[高解像度] は1,500 pixelです。
- ・ [高解像度] の解像度は、以下のファイルの [Setting] の [PreviewSize] の数値を変更することで設定できます。ただし、解像度を高くすると、プリント時間が遅くなることがあります。



D:\¥Fuji Xerox¥Print Server PX¥bin¥FX\_RIP.ini

iniファイルの数値を変更する場合は、デスクトップなど別の場所にiniファイルのバックアップ（複製）を作成しておくことをお勧めします。

## ■ ジョブを自動保持する

チェックマークを付けると、プリントオプションの [出力方法] > [スプールオプション] が [保存しない] のジョブが自動で保持されます。入力範囲は、1～999日間です。

## ■ エラージョブを自動削除する

チェックマークを付けると、入力した日数を超えたエラージョブがリストから削除されます。デフォルト（7日）では、たとえば1月10日にエラーが発生して、そのジョブがエラーリストに入ると、1月17日にエラージョブが削除されることとなります。入力範囲は、1～999日以上経過です。

## ■ 用紙の代用を行う

選択された用紙サイズが用紙トレイにない場合に、ほかのサイズの用紙で代用してプリントするときに設定します。

チェックマークを付けると、レター用紙が用紙トレイにないときはA4用紙で、A4用紙が用紙トレイにないときはレター用紙で代用されます。また、11×17”サイズの用紙が用紙トレイにないときはA3用紙で、A3用紙が用紙トレイにないときは11×17”サイズの用紙で代用されます。



補足

この機能は、選択された用紙サイズのトレイが装着されていない、またはトレイがセットされていない場合だけ有効です。選択された用紙サイズのトレイが存在し、用紙切れの場合、この機能は無効になります。

## ■ 用紙トレイがない場合にエラーにする

チェックマークを付けると、選択された用紙サイズの用紙トレイが存在しない場合、または選択された用紙トレイが用紙切れの場合に、ジョブはエラーリストに移動します。

チェックマークを外すと、エラーメッセージが表示されます。

## ■ 特色のグラデーションの階調を優先する

チェックマークを付けると、グラデーションの中間部がCMYK値で連続に推移するように処理します。

## ■ PostScriptエラー

PostScriptエラーが発生したときの処理方法を、以下の項目から選択します。

- ・ジョブを停止する
- ・ジョブを継続する
- ・エラーシートを出力する

エラーシートには、以下の項目がプリントされます。

- ・ユーザー名
- ・ドキュメント名
- ・日時
- ・PostScriptエラー内容

- 補足**
- ・以下のジョブでPostScriptエラーが発生した場合も、プリントの対象になります。  
スタートアップページ/フォント一覧のプリント/プリント履歴のプリント/プリフライトレポートのプリント
  - ・以下の項目を設定したジョブでは、エラーシートはプリントされません。
    - プリントオプションの [プリフライト] > [TIFFで保存する]、または [PDFで保存する]
    - ServerManagerの [ジョブ] → [RIP済みデータを作成]
    - プリフライトレポートの作成
  - ・用紙切れでエラーシートがプリントされなかった場合は、用紙切れのエラーになりません。

### ■埋め込みカラープロファイルを無視する (CIEBasedA/DEF/DEFG)

チェックマークを付けると、CIEBasedA/DEF/DEFGがそれぞれDeviceGray/DeviceRGB/DeviceCMYKとして扱われます。

チェックマークを外すと、CIEBasedA/DEF/DEFGのまま処理されます。

- 補足**
- プリントオプションの [カラー] > [カラー詳細 (RGB設定)] > [RGB色補正] で、[しない] 以外を選択すると、チェックマークの状態にかかわらず、CIEBasedABC は DeviceRGBとして扱われます。  
[しない] を選択すると、CIEBasedABCのまま処理されます。

### ■画像警告指定

画像警告 (RGB 画像警告、特色警告、インキ総量警告、ヘアライン警告、オーバープリント警告、およびQRコード<sup>®</sup>を検出する) が設定されているジョブの処理について、以下の項目から選択します。

- ・エラーにする
- ・無視する
- ・無視しない

### ■分割出力時のとじしろ量

A2L、B3LをそれぞれA3、B4用紙サイズに分割出力するときのとじしろ量を入力します。入力範囲は、0~200mmです。

- 補足**
- とじしろ量の入力により、イメージが用紙に収まらないとき、分割前イメージの短辺の両端が均等に切れます。

### ■接続先プリンタ

接続されているプリンターが表示されます。

#### ●カバーページを印刷する

チェックマークを付けると、ジョブの最後にそのジョブの情報が記述されているカバーページがプリントされます。

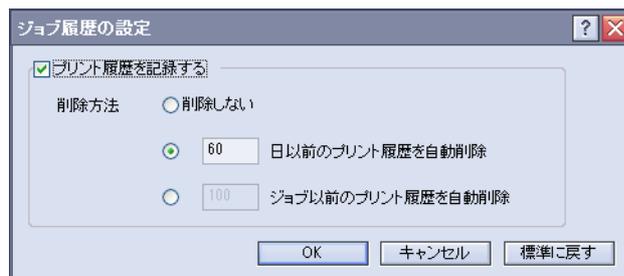
チェックマークを付けたときは、[印刷時の用紙トレイ] でプリントする用紙トレイを選択します。

#### ●PSプリフライトレポート

[印刷時の用紙トレイ] でプリントする用紙トレイを選択します。

## ジョブ履歴の設定

ServerManagerの [システム] → [ジョブ履歴] → [設定] を選択します。



## ■ プリント履歴を記録する

チェックマークを付けると、プリント履歴が記録されます。

チェックマークを付けたときは、記録したプリント履歴の削除方法を選択します。

### ● 削除しない

プリント履歴を削除しません。

### ● \* 日以前のプリント履歴を自動削除

入力した日数を経過すると、記録したプリント履歴が自動で削除されます。入力範囲は、1～999です。

### ● \* ジョブ以前のプリント履歴を自動削除

入力したジョブ数を超えると、記録したプリント履歴が自動で削除されます。入力範囲は、1～9,999です。

## ボックスの設定

ServerManagerの [ボックス] → [ボックスの設定] を選択します。

メール送受信の設定や、メール送信時の分割ファイルサイズなど、各ボックス機能を使用するために必要な設定をします。



参照

詳細と設定方法については、『ユーザーズガイド 運用編』の「3.5.1 ボックスの設定」を参照してください。

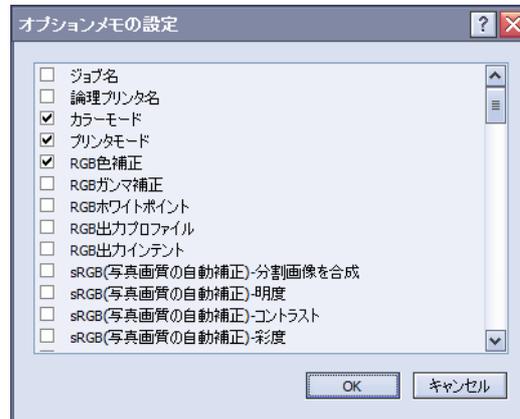
## オプションメモの設定

ServerManagerの [システム] → [オプションメモの設定] を選択します。

プリントオプションの [出力方法] > [メモ書き] 機能を有効にした場合に、印字する内容を設定します。チェックマークが付いている項目が印字されます。



**参照** [メモ書き] については、『ユーザーズガイド 運用編』の「4.1.7 出力方法」を参照してください。



設定できる項目は、以下のとおりです。

- |                         |                                 |
|-------------------------|---------------------------------|
| ・ジョブ名                   | ・論理プリンタ名                        |
| ・カラーモード*                | ・プリンタモード*                       |
| ・RGB色補正*                | ・RGBガンマ補正                       |
| ・RGBホワイトポイント            | ・RGB出力プロファイル                    |
| ・RGB出力インテント             | ・sRGB (写真画質の自動補正) -分割画像を合成      |
| ・sRGB (写真画質の自動補正) -明度   | ・sRGB (写真画質の自動補正) -コントラスト       |
| ・sRGB (写真画質の自動補正) -彩度   | ・sRGB (写真画質の自動補正) -自動ホワイトバランス調整 |
| ・sRGB (写真画質の自動補正) -人肌補正 | ・CMYKシミュレーション*                  |
| ・PDF/xの出力インテントを使用する     | ・特色補正プロファイル                     |
| ・特色補正インテント              | ・ユーザー調整*                        |
| ・コンポジット特色補正*            | ・スムージング                         |
| ・原稿タイプ*                 | ・キャリブレーション                      |
| ・2色印刷シミュレーション           | ・Image Enhancement/白抜き文字の強調     |
| ・トラッピングの自動処理            | ・明るさ調整                          |
| ・シャープネス調整               | ・ラスタ色補正モード                      |
| ・トナー総量調整*               | ・カラー置換                          |
| ・画像品質                   | ・細線調整                           |
| ・グラデーション                | ・トラップ指定を無視する                    |
| ・コンポジットオーバープリント         | ・濃度調整                           |
| ・特色透過率                  | ・Kオーバープリント                      |
| ・EPS (JPEG圧縮) のカラー出力    | ・ノイズの軽減                         |

\* : デフォルトでチェックマークが付いています。

## キャリブレーションの通知設定

ServerManagerの [カラー] → [キャリブレーションの通知設定] を選択します。

### ■ キャリブレーション時期の通知設定

#### ● アラートを表示する

チェックマークを付けると、カウントの方法（出力ページ数、または経過時間）により、警告のダイアログボックスが表示されます。

#### ● チャートを出力する

チェックマークを付けると、カウントの方法（出力ページ数、または経過時間）により、キャリブレーションチャートがプリントされます。

チェックマークを付けたときは、キャリブレーションチャートのプリント条件（部数、原稿タイプ、キャリブレーションターゲット、用紙トレイ）を設定します。

 **補足** このチャートはキャリブレーション時期を通知するためのものです。キャリブレーションには使用できません。

 **参照** キャリブレーションチャートのプリント条件については、『ユーザーズガイド 運用編』の「2.2.2 キャリブレーションの実施」の「キャリブレーションファイルの作成」を参照してください。

#### ● カウントの方法

[アラートを表示する]、または [チャートを出力する] のチェックマークが付いているときに、キャリブレーション時期が通知（警告のダイアログボックスの表示、またはキャリブレーションチャートのプリント）されるタイミングを設定します。

[出力ページ数]、[経過時間] の両方にチェックマークを付けた場合は、どちらか一方が入力した数値を超えたときに通知されます。

 **補足** 以下の場合は、カウントがリセットされ、0に戻ります。

- 通知されたとき
- チェックマークが外れている状態から、チェックマークを付けて設定を保存したとき
- キャリブレーションの操作で、キャリブレーションファイルを保存したとき

● 通知を行う出力ページ数

キャリブレーションの通知が行われる出力ページ数を入力します。入力範囲は、1,000～1,000,000ページです。

 **補足** ページ数は、ジョブのプリント終了時に加算されます。プリントの途中で入力した出力ページ数を超えても、プリントが終了するまで通知されません。

● 通知を行う経過時間

キャリブレーションの通知が行われる経過時間を入力します。入力範囲は、24～720時間です。

 **補足** 時間は、OSの日付と時刻を参照しています。(ServerManagerの起動時間の合計ではありません)

■ キャリブレーション実施時の通知設定

● メール送信する

チェックマークを付けると、キャリブレーションファイルを保存したとき、[メールアドレス]に入力したアドレスにメールが送信されます。

● メールアドレス

メールアドレスを128バイト以内で入力します。半角スペース、またはセミコロン「;」で区切ると、複数のアドレスを入力できます。

---

## ライセンスの設定

---

ServerManagerの [システム] → [初期設定] → [ライセンスの設定] を選択します。

 **補足** 一般ユーザーとしてログインしている場合は、設定された情報の参照だけです。ログインしていない場合は、[ライセンスの設定] は選択できません。



■ オプション機能名

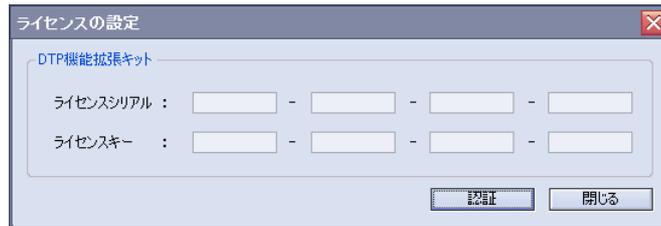
設定可能なオプション機能の名称と、ライセンスの設定状態が表示されます。設定するオプション機能名をダブルクリックすると [ライセンスの設定] ダイアログボックスが表示されます。

■ 編集

設定するオプション名を選択し、[編集] をクリックすると、[ライセンスの設定] ダイアログボックスが表示されます。

[ライセンスシリアル] と [ライセンスキー] を入力し、[認証] をクリックすると、ライセンスが認証されます。

すでにライセンスが認証されている場合は、ライセンスシリアルとライセンスキーが表示されます。



- **ライセンスシリアル**

12桁の数字を入力します。

- **ライセンスキー**

16桁の英数字を入力します。

- **読み込み**

ライセンスファイル（拡張子は「.lic」）を読み込みます。



**補足**

ライセンスファイルは大切に保存しておいてください。

## プリンター設定

ServerManagerの [システム] → [初期設定] → [プリンター設定] を選択します。

プリンターに設定されている情報を入力します。



**補足**

- ・常にプリンター側の設定と一致している必要があります。プリンター側の設定を変更したときは、同様に変更してください。
- ・変更した設定は、Print Serverを再起動するまで有効になりません。



**参照**

プリンター情報の表示については、プリンターのマニュアルを参照してください。



- **本体のアドレス**

IPアドレス（\*\*\*.\*\*\*.\*\*\*.\*\*\*形式）、またはDNS名を入力します。

### 1.5.3 作業用フォルダーの設定

作業用フォルダーには、以下の種類があります。各フォルダーの場所は、変更できます。



**補足**

[ファイル保存フォルダ]、[スプールフォルダ]、および [メールボックス] の変更前の作業用フォルダーの内容は、変更後の作業用フォルダーに自動で複製されます。

- **ファイル保存フォルダ**

ジョブのイメージを保存するフォルダーです。

プリントオプションの [プリフライト] > [RIP 後のデータをファイルに保存] > [TIFF で保存する]、または [PDFで保存する] を選択し、ファイルをプリントすると、作成されたファイルが格納されます。



[ファイル保存フォルダ] を使うには、共有の設定が必要です。設定については、『ユーザーズガイド 運用編』の「7.3.2 フォルダの共有」を参照してください。

### ■ ホットフォルダ

FTPから送信したジョブを格納するフォルダです。

ServerManager で [ホットフォルダ] を使用する設定になっている場合は、このフォルダの下に「folder1」が作成され、さらに「folder1」の下にサブフォルダが作成されます。

サブフォルダで、ジョブの受信が完了すると、プリント処理が開始されます。

### ■ スプールフォルダ

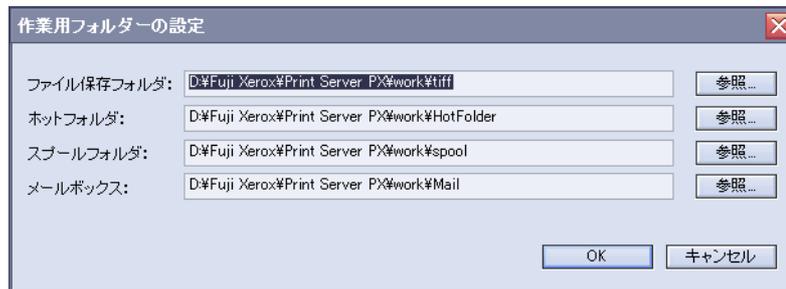
ジョブのスプール用のフォルダです。

### ■ メールボックス

送受信メールのスプール用フォルダです。

## 作業用フォルダの変更

1. ServerManagerの [システム] → [初期設定] → [作業用フォルダの設定] を選択します。  
[パスワード確認]ダイアログボックスが表示された場合は、管理者用パスワードを入力し、[OK] をクリックします。
2. 作業用フォルダを設定し、[OK] をクリックします。



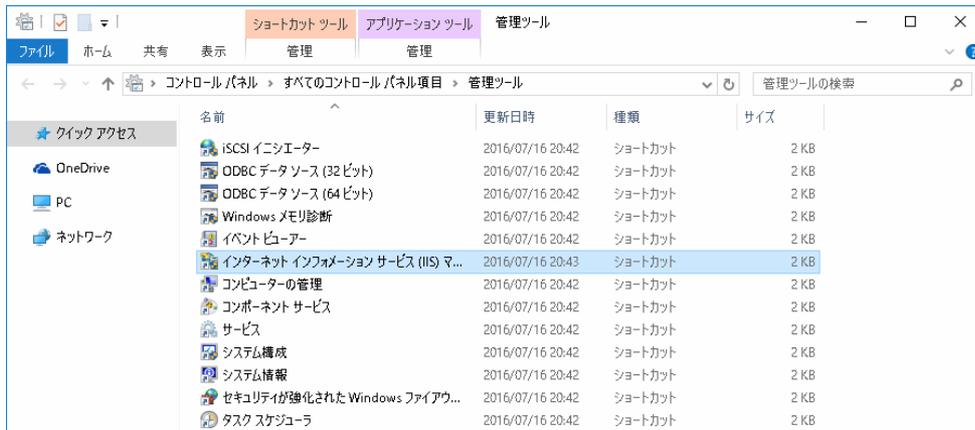
作業用フォルダを変更する場合は、フォルダ名を直接入力するか、[参照] をクリックしてフォルダを選択します。



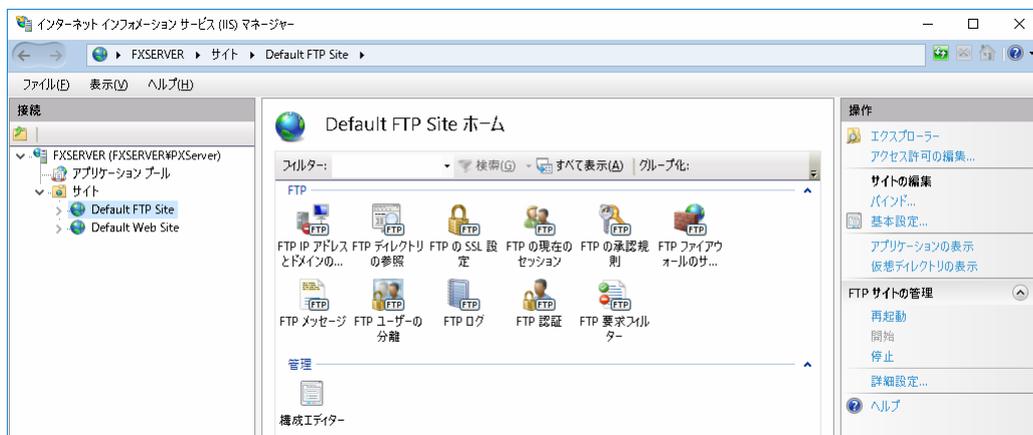
ホットフォルダの作業用フォルダの場所を変更しても、変更前のフォルダはもとの場所に残ります。(自動では削除されません)

3. 確認のダイアログボックスで、[OK] をクリックします。  
作業用フォルダが設定された場所に変更されます。
  - ◆ **ホットフォルダを使用する場合**  
ホットフォルダを変更した場合は、続いて、FTPサービスのフォルダを変更します。
4. Windowsの [スタート] → [Windowsシステムツール] → [コントロールパネル] を選択します。
5. [管理ツール] をクリックします。

6. [インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャー] をダブルクリックします。

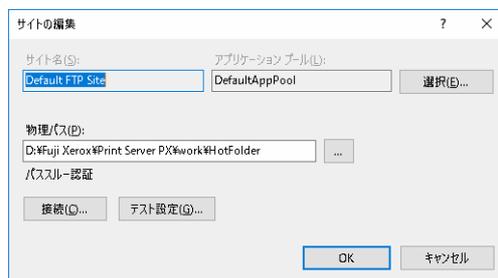


7. 左側のツリーから、Print Serverに設定したホスト名（デフォルトでは「FXSERVER」）をダブルクリックし、[サイト] の [Default FTP Site] を選択します。



8. 右側にある [操作] の [基本設定] を選択します。

9. [物理パス] に手順2で設定した [ホットフォルダ] のフォルダーの場所を入力し、[OK] をクリックします。



## 1.6 設定情報をバックアップする

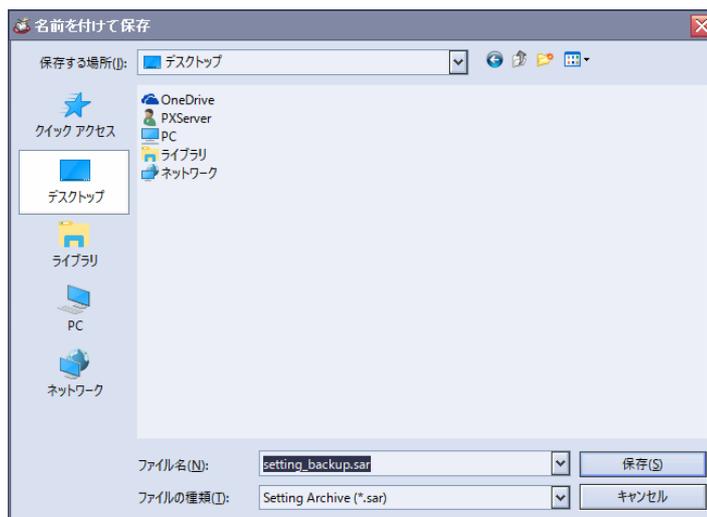
Print Serverの設定情報をバックアップしておくことで、万一トラブルが起きたとき、再設定の時間を短縮できます。また、安全のため、別のハードディスクやメディアなどに、システムのバックアップを作成することをお勧めします。

設定情報をバックアップすると、以下の情報が1つのファイルにまとめられます。

- ・プリント履歴の表示/保存/プリント
- ・長さの単位
- ・キャリブレーション設定、キャリブレーションプロファイル
- ・特色の管理
- ・ジョブ履歴の設定
- ・プリントジョブの設定
- ・ボックスの設定
- ・ユーザー管理
- ・ページ番号設定ファイルの管理
- ・アドレス帳
- ・保存・接続先の管理
- ・サーバーの通信設定
- ・初期設定-その他の設定
- ・カラー調整ファイルの管理
- ・論理プリンタの管理
- ・オプションメモの設定
- ・プリントオプションテンプレートの管理
- ・ライセンスの設定
- ・ウォーターマーク管理
- ・キャリブレーションの通知設定
- ・プリンター設定

### 設定情報のバックアップの作成

1. ServerManagerの [システム] → [バックアップ] → [設定をバックアップ] を選択します。
  - ・ [パスワード確認] ダイアログボックスが表示された場合は、管理者用パスワードを入力し、[OK] をクリックします。
  - ・ クライアントコンピューターから指示した場合は、[設定のバックアップの作成先] ダイアログボックスが表示されるので、保存するコンピューターを選択し、[OK] をクリックします。
2. 保存先を選択し、[保存] をクリックします。



- ・ ファイルの拡張子は、「.sar」です。
- ・ 保存したファイルは、クライアントコンピューターのHDDなどにバックアップします。

---

## バックアップした設定情報の復元

---

1. ServerManagerの [システム] → [バックアップ] → [設定をリストア] を選択します。
2. クライアントコンピューターから指示した場合は、[設定のバックアップの復元] ダイアログボックスで、復元する設定情報のファイルが保存されているコンピューターを選択し、[OK] をクリックします。
3. 復元するファイルを選択し、[開く] をクリックします。



# 2

## クライアントコンピューターの設定

---

プリンタードライバーなど、クライアントコンピューターが使うソフトウェアのインストール方法について説明しています。

2.1	ソフトウェアを入手する .....	60
2.1.1	クライアントコンピューターの動作環境.....	60
2.1.2	Print Serverからのダウンロード.....	61
2.2	プリンターを設定する .....	63
2.2.1	Mac OS Classicクライアント .....	64
2.2.2	macOSクライアント .....	67
2.2.3	Windowsクライアント (プリンタードライバー) .....	71
2.2.4	Windowsクライアント (PDFプリンタードライバー) .....	79
2.3	ソフトウェアをインストールする .....	85
2.3.1	macOSクライアント .....	85
2.3.2	Windowsクライアント .....	86

## 2.1 ソフトウェアを入手する

クライアントコンピューターの動作環境と、各種ソフトウェアの入手方法について説明します。

クライアントコンピューターで使用するプリンタードライバーなどの各種ソフトウェアは、以下の方法で入手できます。

- ・ アプリケーションUSBメモリーからインストールする
- ・ WebManagerを使って、Print Serverからダウンロードする



参照

Print Serverからダウンロードする方法については、「2.1.2 Print Serverからのダウンロード」(P.61)を参照してください。

### 2.1.1 クライアントコンピューターの動作環境

Print Serverのソフトウェアを使用するには、以下のハードウェアとソフトウェアがクライアントコンピューターに必要です。

#### ● 各OS共通の必要動作環境

- ・ ハードディスクドライブ
- ・ Print Serverとの接続用に整備されたネットワーク環境



補足

ネットワーク環境については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

#### ● OSにより異なる必要動作環境

サポート OS		対応ブラウザ
Mac OS Classic (Mac OS 9.2.2)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Internet Explorer® 5.1.7</li> <li>・ Netscape® 7.0.2</li> </ul>
macOS	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ macOS Mojave (10.14) 以降</li> <li>・ macOS High Sierra (10.13.6)</li> <li>・ macOS Sierra (10.12.6)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Safari 12.0</li> <li>・ Firefox® 65</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ OS X El Capitan (10.11.6)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Safari 11.0</li> <li>・ Firefox 65</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ OS X Yosemite (10.10.5)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Safari 10.0</li> <li>・ Firefox 65</li> </ul>
Microsoft Windows	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Windows 10</li> <li>・ Windows 8.1</li> <li>・ Windows 7 SP1</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Internet Explorer 11.0</li> <li>・ Firefox 65</li> </ul>
Microsoft Windows Server®	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Windows Server 2019</li> <li>・ Windows Server 2016</li> <li>・ Windows Server 2012 R2</li> <li>・ Windows Server 2008 R2 SP1</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Internet Explorer 11.0</li> <li>・ Firefox 65</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Windows Server 2012</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Internet Explorer 10.0</li> <li>・ Firefox 65</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Windows Server 2008 SP2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Internet Explorer 9.0</li> <li>・ Firefox 65</li> </ul>



参照

互換ハードウェアについては、各OSのマニュアルを参照してください。

## 2.1.2 Print Serverからのダウンロード

### ◆ソフトウェアの種類

ダウンロードできるソフトウェアは、以下のとおりです。

ソフトウェアの種類	Macintosh		Windows
	Classic	macOS	
ServerManager	—	—	○
プリンタードライバ	○	—	—
プリンタードライバプラグイン	—	○	○
PDFプリンタードライバプラグイン	—	—	○ (Windows Server OSを除く)
スクリーンフォント (1/2/3)	○	—	—
DropUtility	—	○	○
PrinterStatusMonitor	—	—	○
EasyMagnifier	—	—	○
ICCプロファイル	○	—	○



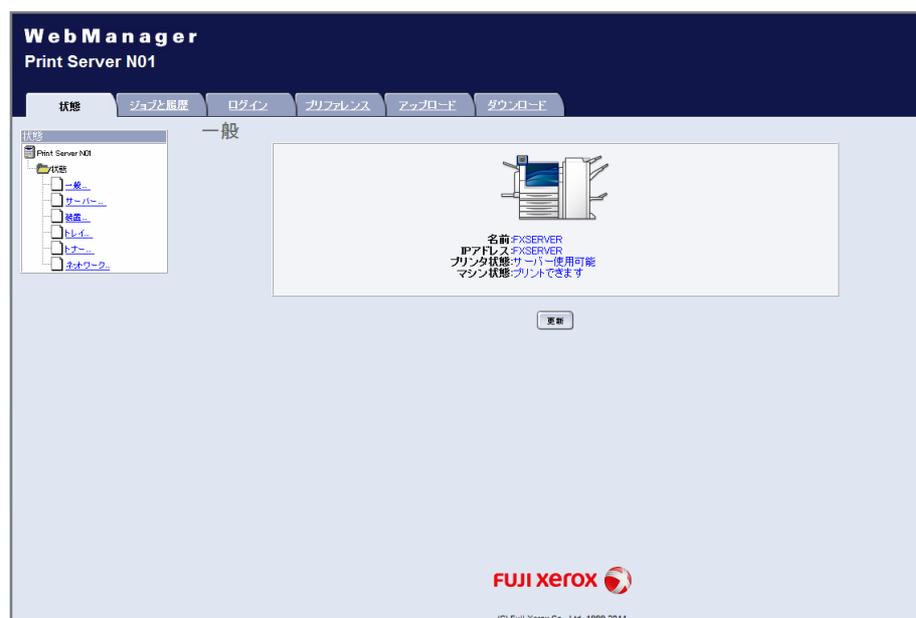
プリンタードライバや DropUtility のバージョンは、プリントオプションが表示されている画面の [バージョン情報] をクリックすると表示されます。

Windows 10でInternet Explorer 11.0を使用する場合を例に、Print Serverからソフトウェアをダウンロードする手順を説明します。



ダウンロードするときは、ブラウザでプロキシサーバーを経由しないように設定してください。プロキシサーバーを経由するように設定すると、古いバージョンがダウンロードされることがあります。

1. Internet Explorerを起動します。
2. アドレス欄に、Print ServerのIPアドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。
3. [ダウンロード] タブをクリックします。

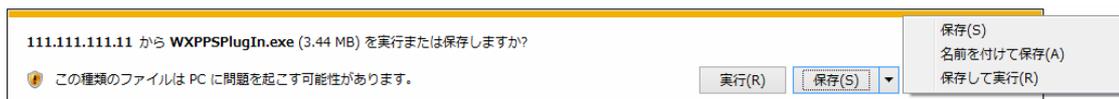


4. 左側のフレームから、該当するOSをクリックします。

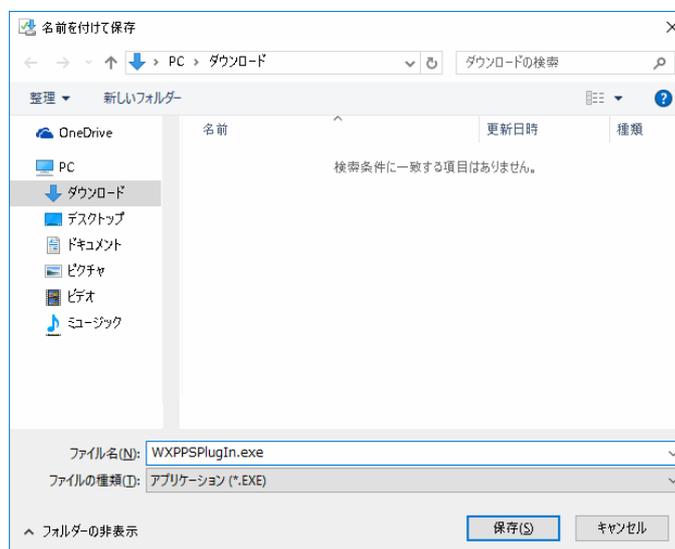


5. 右側のフレームで、ダウンロードするソフトウェアをクリックします。

6. [▼] をクリックし、[名前をつけて保存] を選択します。



7. 保存先を選択し、[保存] をクリックします。



ソフトウェアがダウンロードされます。

続けて、ソフトウェアをインストールする場合は、該当するクライアントコンピューターの項目を参照してください。

- ・「2.3.1 macOSクライアント」(P.85)
- ・「2.3.2 Windowsクライアント」(P.86)

## 2.2 プリンターを設定する

クライアントコンピューターにプリンタードライバー、またはプリンター記述ファイル（PPD）をインストールする手順について説明します。

Print Serverには、従来のPostScript形式でデータを送信するプリンタードライバー（PSドライバー）に加え、PDF形式でデータを送付する、PDFプリンタードライバー（Adobe PDF Driver SDKを使用したプリンタードライバー）があります。

### ■ PDFプリンタードライバー

オフィスアプリケーションからのプリントでの PostScript が持つ問題が解消され、オフィス系文書の再現性が向上します。

DTP系のアプリケーションからプリントする場合は、PDF のパススルー方式に対応したアプリケーション（Adobe InDesign® CC以降、Adobe Reader®/Acrobat® DC以降、Adobe Illustrator® CC 2017）を利用して、APPE（プリントオプションの [RIP] > [RIPの種類] > [APPE] を選択する）でプリントすることを推奨します。



補足

- ・ PDF プリンタードライバーでプリントエラーが発生する場合は、全ページ分のデータをスプールしてください。
- ・ Windows クライアントの PDF プリンタードライバーで部数指定する場合、[プリント] ダイアログボックスの [プロパティ] をクリックして表示される [部数指定] を使用してください。[プリント] ダイアログボックスのアプリケーションが表示する部数指定は無効になります。



参照

- ・ PDFプリンタードライバーが使用できるOSについては、「2.1.2 Print Serverからのダウンロード」（P.61）を参照してください。
- ・ PDFプリンタードライバーには、制限事項があります。制限事項については、『ユーザーズガイド 運用編』の「7.2 プリントに関する事項」を参照してください。

Macintosh（Mac OS Classic、macOS）クライアントとWindowsクライアントで、インストール方法が異なります。

◆ Mac OS Classicクライアント.....	64
◆ macOSクライアント.....	67
◆ Windowsクライアント（プリンタードライバー）.....	71
◆ Windowsクライアント（PDFプリンタードライバー）.....	79

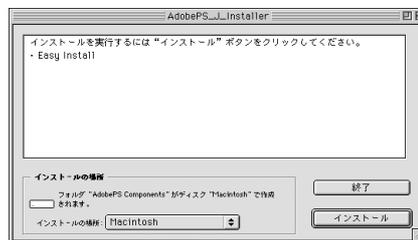
## 2.2.1 Mac OS Classicクライアント

Mac OS Classic対応のプリンタードライバーをインストールします。

インストールの前に、あらかじめ、プリンタードライバーとプリンター記述ファイル（PPD）をダウンロードしておきます。

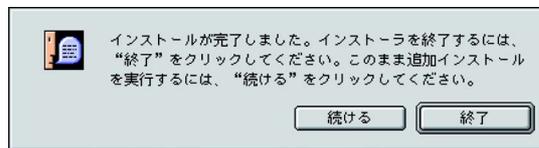
 **参照** プリンタードライバーについては、「2.1 ソフトウェアを入手する」（P.60）を参照してください。

1. ダウンロードした「AdobePS\_J\_Installer.hqx」をダブルクリックします。  
ファイルが解凍され、インストーラーが起動します。
2. [続ける] をクリックし、インストールを続行します。
3. エンドユーザーライセンス契約書のダイアログボックスで、[同意] をクリックします。
4. インストールの場所を選択し、[インストール] をクリックします。



インストールが開始されます。

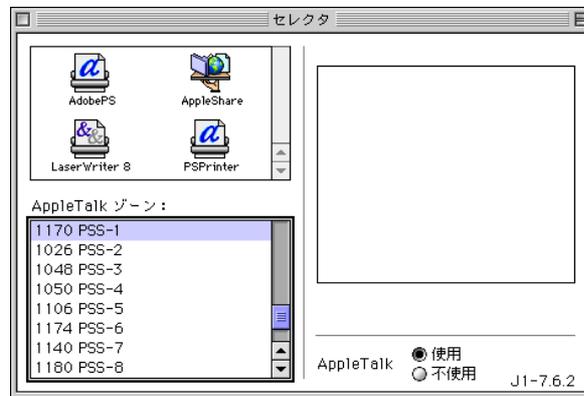
5. インストールを終了するためのダイアログボックスで、[続ける] をクリックします。



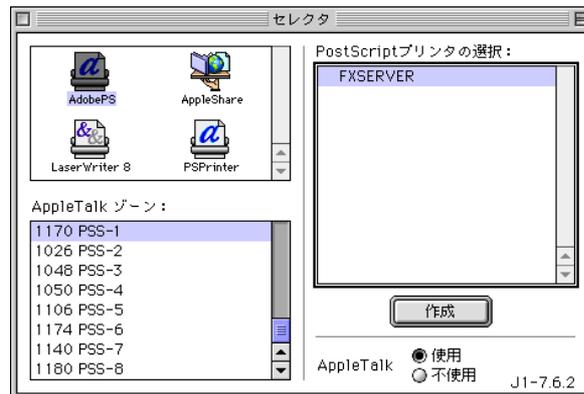
6. ダウンロードした圧縮ファイル（「CLASSIC\_PSPX60\_FXPPD.hqx」）をダブルクリックします。  
ファイルが解凍されます。
7. 解凍されたプリンター記述ファイル（「FX DPC5000d PSPX60 PS H2」）を [システムフォルダ] → [機能拡張] → [プリンター記述ファイル] に移動します。  
続いて、セレクタでプリンターを選択する必要があるため、「プリンターの作成」（P.65）に進みます。

## プリンターの作成

1. アップルメニューで、[セレクト] を選択します。
2. [セレクト] ダイアログボックスの右下にある「AppleTalk」が [不使用] になっている場合は、[使用] を選択し、[AdobePS] アイコンを選択します。



3. [AppleTalkゾーン] で、Print Serverが存在するゾーンを選択し、[PostScriptプリンタの選択] に表示されたリストから、Print Serverを選択します。



**補足** AppleTalkゾーン名やPrint Serverのコンピューター名がわからない場合は、ネットワーク管理者に確認してください。

4. [作成] をクリックします。
5. Print Serverの機種に合ったAdobePSドライバー用のPPDファイルを選択し、[選択] をクリックします。





- ・ スプールオプションやキャリブレーションなどその他のプリントオプションを設定する場合には、あらかじめPrint Serverの出力先論理プリンタのプリントオプションテンプレートの設定を変更してください。
- ・ PPD ファイル使用時に、プリンタドライバで設定できるプリントオプションは、以下のとおりです。

プリントオプション	
カラー	カラーモード
カラー>カラー詳細 (RGB設定)	RGB色補正
カラー>カラー詳細 (CMYK設定)	CMYK色補正
	CMYKシミュレーション
画質	プリンタモード
	コンポジットオーバープリント
	原稿タイプ-画像/文字
用紙/ページ	部数
	用紙トレイ
	原稿ページ範囲
用紙/ページ>用紙設定	用紙種類
出力方法	両面
	スプールオプション
排出/フィニッシング/両面	両面
	ソートする (1部ごと)
	最終ページから印刷

6. [セレクト] ダイアログボックスを閉じます。

## 2.2.2 macOSクライアント

macOS用プリンタ記述ファイル（PPD）をインストールします。

インストールの前に、あらかじめ、プリンタドライバプラグインをダウンロードしておきます。

 **参照** プリンタドライバプラグインについては、「2.1 ソフトウェアを入手する」（P.60）を参照してください。

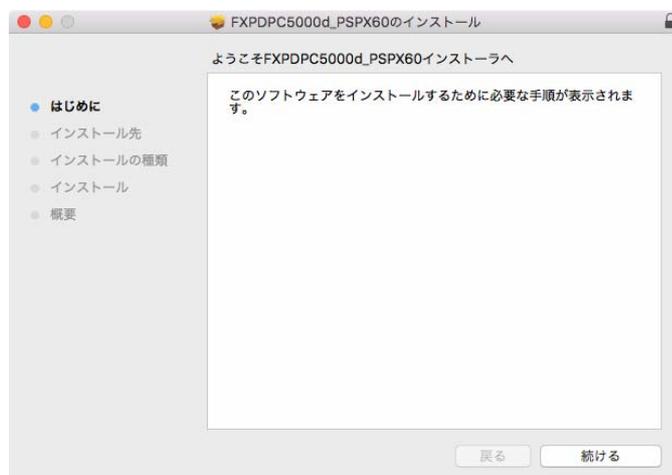
macOS 10.12を例に説明します。

1. 「X10.3\_PSPX60\_PPD」フォルダー内の「\*\_\*\_FXPSPX\_DPC5000d\_V60.pkg」アイコンをダブルクリックします。

「X10.3\_PSPX60\_PPD」フォルダーは、ダウンロードした「X10.3\_PSPX60\_PPD.dmg」を解凍すると表示されます。

 **補足** \*はOSのバージョンです。お使いのOSのバージョンに応じて、ファイルを選択してください。

2. [続ける] をクリックします。



[インストール先を選択] ダイアログボックスが表示された場合は、インストールするドライブを選択し、[続ける] をクリックします。

3. [インストール] をクリックします。



4. 管理者の名前とパスワードを入力し、[ソフトウェアをインストール] をクリックします。



インストールが開始されます。

5. インストールが完了したら、[閉じる] をクリックします。



PPDのインストールは完了です。

なお、プリントする場合は、[システム環境設定] の [プリンタとスキャナ] でプリンターを作成する必要があります。続いて、「プリンターの作成」(P.68) に進みます。

---

## プリンターの作成

---



参照

Bonjour機能を使用して、プリンターを作成することもできます。  
Bonjour機能については、「Bonjour機能」(P.70) を参照してください。

1. [システム環境設定] で [プリンタとスキャナ] アイコンをクリックします。

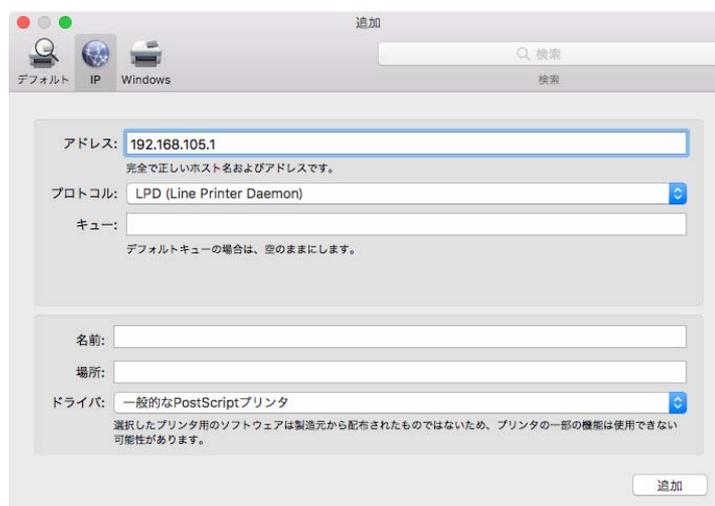
- [+] をクリックし、[プリンタまたはスキャナを追加] を選択します。



- [IP] タブをクリックします。



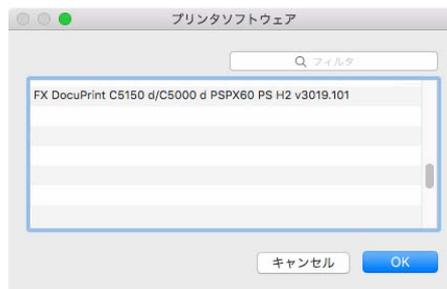
- [プロトコル] で [LPD (Line Printer Daemon)] を選択し、[アドレス] にPrint ServerのIPアドレスを、[キュー] にPrint ServerのTCP/IPの論理プリンタの設定名を入力します。



5. 必要に応じて、[名前] と [場所] を入力します。
6. [ドライバ] で [ソフトウェアを選択] を選択します。



7. プリンタソフトウェアの一覧から [FX DocuPrint C5150 d/C5000 d PSPX60 PS H2 v3019.101] を選択し、[OK] をクリックします。



8. [追加] をクリックします。
9. [プリンタとスキャナ] ダイアログボックスを閉じます。

## Bonjour機能

IPネットワーク上のデバイスやサービスなどを自動で検出する Bonjour 機能により、プリンターの追加が簡単にできます。



補足

- ・ Bonjour 機能を使用してのプリンターの作成は、プリンタ記述ファイル (PPD) をインストールしたあとに行ってください。
- ・ Bonjour 機能を使用するには、プリンターを設定するクライアントコンピューターと Print Server が同一のサブネット内に接続されている必要があります。

1. [システム環境設定] で [プリンタとスキャナ] アイコンをクリックします。
2. [+] をクリックします。
3. [デフォルト] タブをクリックします。  
Bonjour 機能が設定されているプリンターが表示されます。
4. プリンターを選択し、[追加] をクリックします。

## 2.2.3 Windowsクライアント（プリンタードライバー）

プリンタードライバーをインストールします。

### インストールの準備

インストールの前に、あらかじめ、プリンタードライバープラグインをダウンロードしておきます。

 **参照** プリンタードライバープラグインについては、「2.1 ソフトウェアを入手する」(P.60)を参照してください。

プリンタードライバーをインストールする前に、起動しているアプリケーションをすべて終了してください。正しくインストールできないことがあります。

 **補足**

- ・プリンタードライバーのインストールは、Windows に管理者権限のあるユーザーでサインインしてください。
- ・Print Server では、セキュリティ対策として、デフォルトでは、使用していないTCP/IPポートを閉じています。そのため、NetBIOS over TCP/IPも閉じています。  
Windowsネットワークでの共有プリンター出力、Tiffフォルダー共有、ホットフォルダプリントを使用する場合は、Print Serverで、Windowsに管理者権限のあるユーザーでサインインし、Windowsの [スタート] → [Windowsシステムツール] → [コントロールパネル] → [Windowsファイアウォール] → [Windowsファイアウォールを介したアプリまたは機能を許可] で [設定の変更] をクリックし、[ファイルとプリンターの共有] にチェックマークを付けてください。

### プリンターの作成

プリンターの作成方法は、共有プリンターを使う場合と使わない場合で異なります。

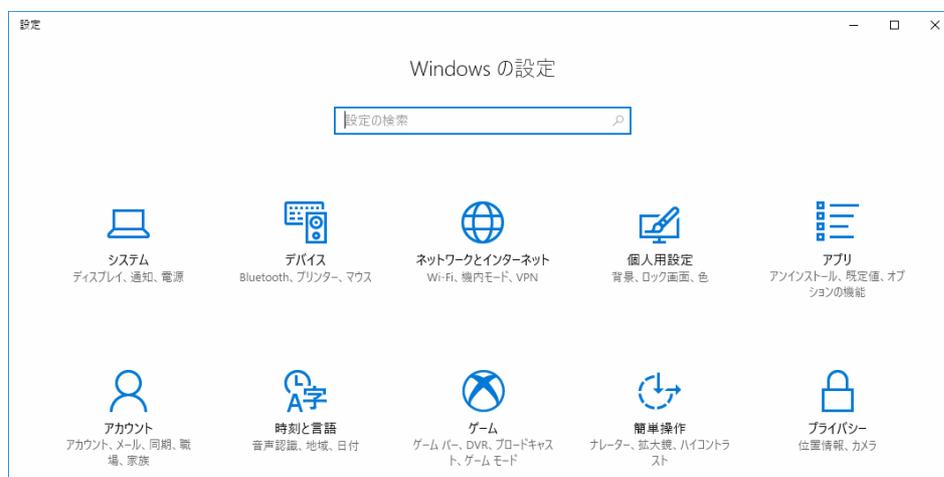
- ・「共有プリンターを使う場合」(P.71)
- ・「共有プリンターを使わない場合」(P.72)

 **補足** Bonjour機能を使用して、プリンターの作成もできます。  
Bonjour機能については、「Bonjour機能」(P.78)を参照してください。

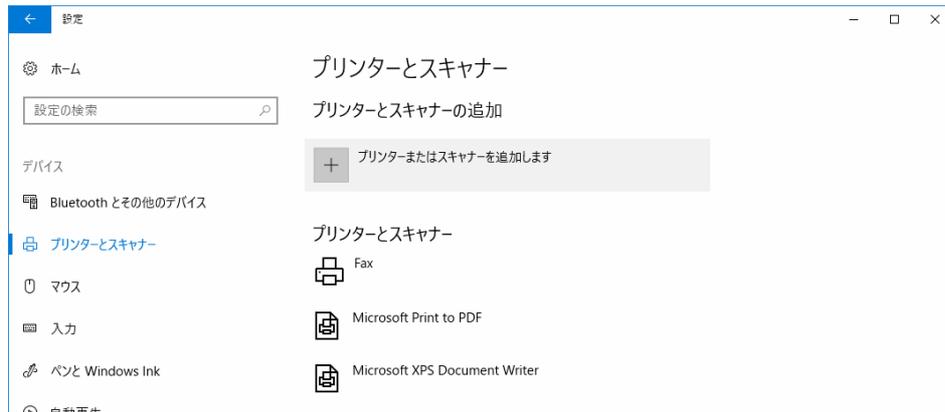
Windows 10を例に説明します。

#### ■ 共有プリンターを使う場合

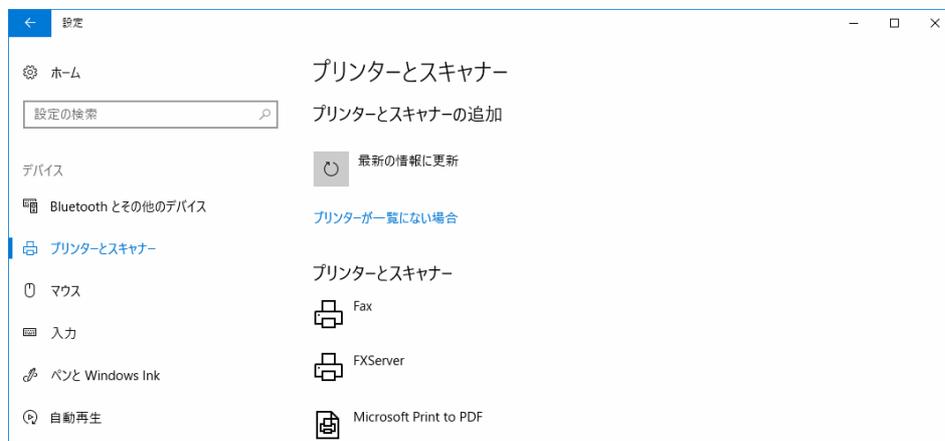
1. Windowsの [スタート] →  [設定] をクリックし、[デバイス] を選択します。



2. 画面の左側で、[プリンターとスキャナー] を選択し、画面の右側で、[プリンターまたはスキャナーを追加します] を選択します。



3. [プリンターとスキャナー] の一覧からプリンターを選択します。



補足

Print Server に登録されているユーザー名と同じユーザー名でクライアントコンピューターにサインインしている場合、[ユーザー認証] ダイアログボックスが表示されます。この場合、ネットワーク管理者に確認して、ユーザー名およびパスワードを入力してください。

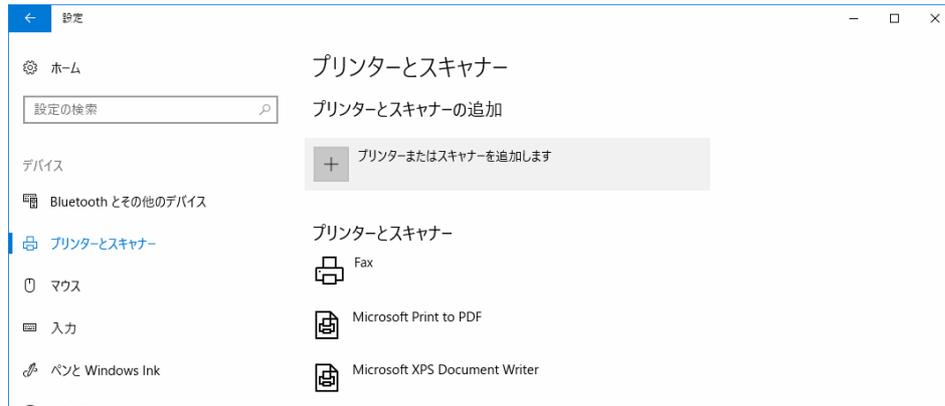
### ■ 共有プリンターを使わない場合

Standard TCP/IPを使用する場合を例に説明します。

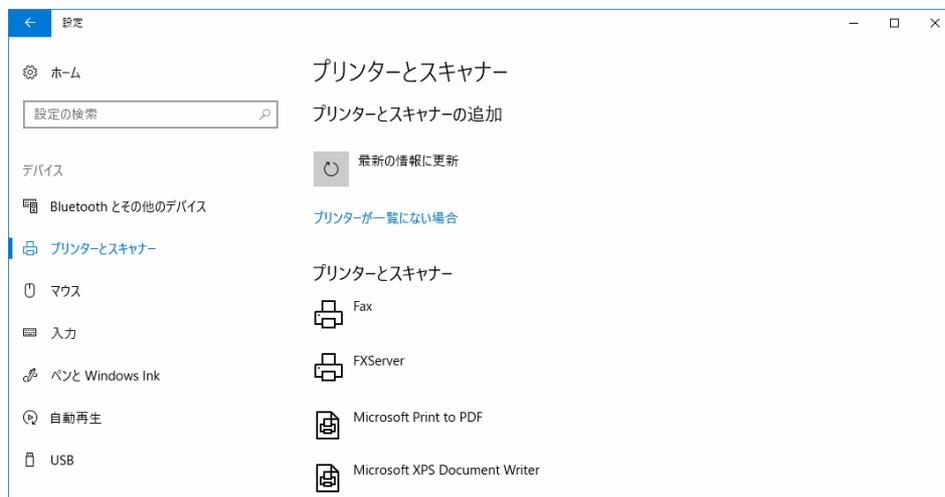
1. Windowsの [スタート] →  [設定] をクリックし、[デバイス] を選択します。



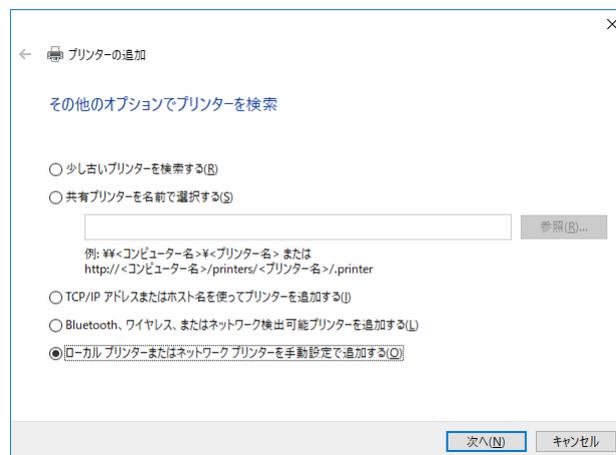
2. 画面の左側で、[プリンターとスキャナー] を選択し、画面の右側で、[プリンターまたはスキャナーを追加します] を選択します。



3. [プリンターが一覧にない場合] をクリックします。  
[その他のオプションでプリンターを検索] ダイアログボックスが表示されます。



4. [ローカルプリンターまたはネットワークプリンターを手動設定で追加する] を選択し、[次へ] をクリックします。



5. [新しいポートの作成] を選択し、[ポートの種類] で [Standard TCP/IP Port] を選択して、[次へ] をクリックします。

The screenshot shows a dialog box titled 'プリンターの追加' (Add Printer) with a sub-header 'プリンター ポートの選択' (Printer Port Selection). Below the sub-header, there is a brief instruction: 'プリンター ポートによってコンピューターがプリンターと情報を交換できるようになります。' (You can exchange information between the computer and the printer using a printer port). There are two radio button options: '既存のポートを使用(L):' (Use existing port) and '新しいポートの作成(Q):' (Create new port). The second option is selected. Under the selected option, there is a dropdown menu for 'ポートの種類:' (Port type) with 'Standard TCP/IP Port' selected. At the bottom right, there are two buttons: '次へ(N)' (Next) and 'キャンセル' (Cancel).

6. [ホスト名またはIPアドレス] に Print Server の IP アドレス、[ポート名] に Print Server の TCP/IP 論理プリンタの設定名を入力し、[次へ] をクリックします。

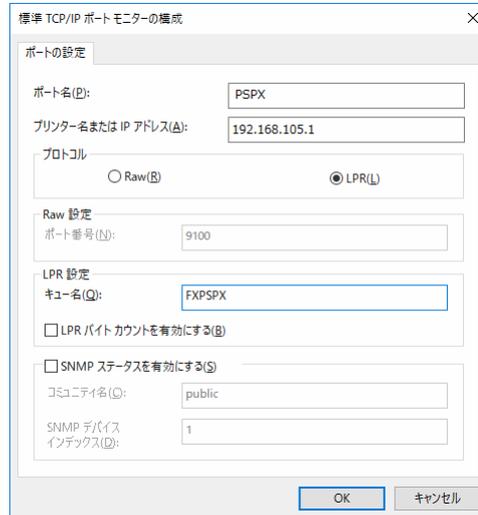
The screenshot shows a dialog box titled 'プリンターの追加' (Add Printer) with a sub-header 'ホスト名または IP アドレスを入力します' (Enter host name or IP address). Below the sub-header, there is a dropdown menu for 'デバイスの種類(D):' (Device type) with 'TCP/IP デバイス' (TCP/IP device) selected. There are two text input fields: 'ホスト名または IP アドレス(A):' (Host name or IP address) and 'ポート名(P):' (Port name). At the bottom, there is a checkbox labeled 'プリンターを照会して、使用するプリンター ドライバーを自動的に選択する(Q)' (Query printer and automatically select printer driver to use) which is checked. At the bottom right, there are two buttons: '次へ(N)' (Next) and 'キャンセル' (Cancel).

7. [デバイスの種類] で [カスタム] を選択し、[設定] をクリックします。

The screenshot shows a dialog box titled 'プリンターの追加' (Add Printer) with a sub-header '追加のポート情報が必要です' (Additional port information is required). Below the sub-header, there is a message: 'デバイスがネットワーク上に見つかりません。以下の点を確認してください' (Device not found on network. Please check the following points). There is a numbered list of four points: 1. デバイスがオンになっている。 (Device is on), 2. ネットワークが接続されている。 (Network is connected), 3. デバイスが正しく構成されている。 (Device is configured correctly), 4. 前のページのアドレスが正確である。 (Address on previous page is correct). Below the list, there is a message: 'アドレスが間違っていると考えられる場合は、[戻る] をクリックして、前のページに戻り、アドレスを修正し、ネットワークで別の検索を実行してください。アドレスが確実に正確である場合は、次のデバイスの種類を選択してください。' (If you think the address is wrong, click [Back] to return to the previous page, correct the address, and perform another search on the network. If you are sure the address is correct, select the next device type). There is a dropdown menu for 'デバイスの種類' (Device type) with 'Generic Network Card' selected. There are two radio button options: '標準(S)' (Standard) and 'カスタム(C)' (Custom). The second option is selected. Below the selected option, there is a button labeled '設定(S)...' (Settings...). At the bottom right, there are two buttons: '次へ(N)' (Next) and 'キャンセル' (Cancel).

8. 以下の設定をし、[OK] をクリックします。

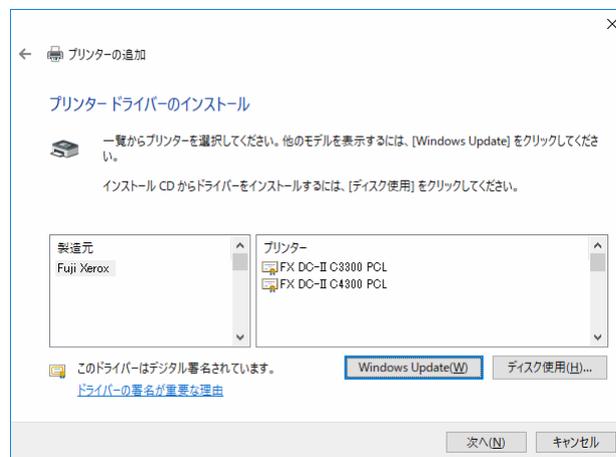
1. [プロトコル] で [LPR] を選択します。
2. [LPR 設定] の [キュー名] に Print Server の TCP/IP 論理プリンタの設定名（画面例では「FXPSPX」）を入力します。
3. [LPRバイトカウントを有効にする] のチェックマークを外します。



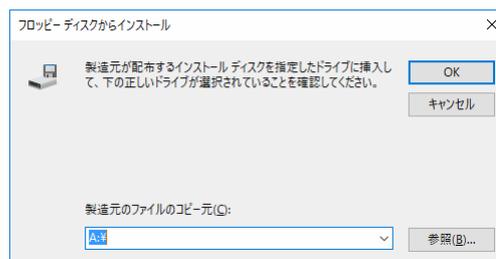
 **補足** Rawモードはサポートしていません。

9. [プリンターの追加] ダイアログボックスで、[次へ] をクリックします。

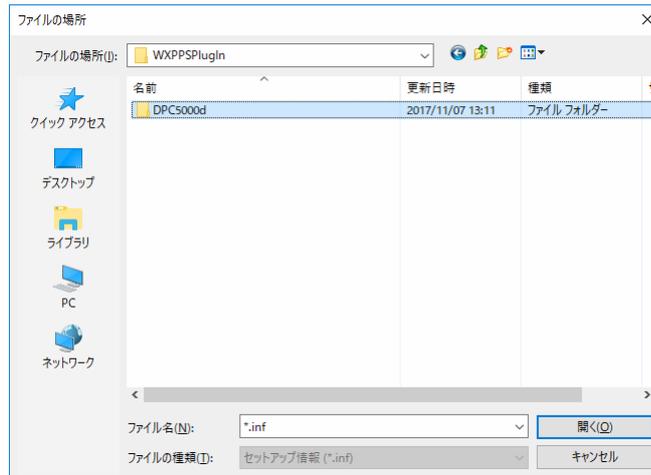
10. [ディスク使用] をクリックします。



11. [フロッピーディスクからインストール] ダイアログボックスで、[参照] をクリックします。



12. [WXPPSPugin] → [DPC5000d] フォルダを選択し、[開く] をクリックします。

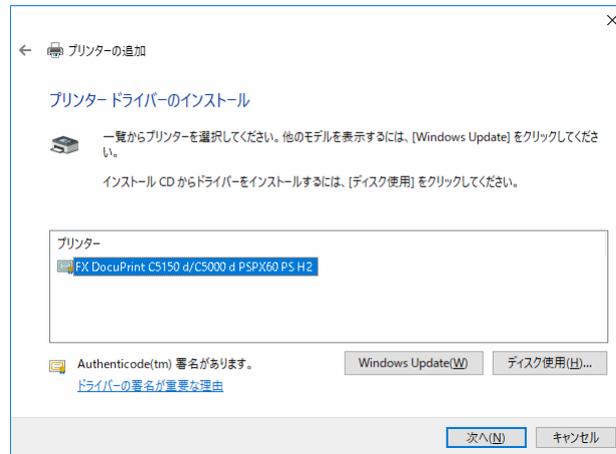


 **補足** 「DPC5000d」フォルダは、「WXPPSPugin.exe」を解凍した「WXPPSPugin」の中のものを使用してください。

13. 開いたフォルダ内のINFファイルを選択し、[開く] をクリックします。

[フロッピーディスクからインストール] ダイアログボックスが表示されたら、[OK] をクリックします。

14. [FX DocuPrint C5150 d/C5000 d PSPX60 PS H2] を選択し、[次へ] をクリックします。



## 15. [次へ] をクリックします。

 **補足** プリンター名を設定する場合、すべてを大文字で設定しないでください。

## 16. 必要に応じて、以下の設定をして、[次へ] をクリックします。

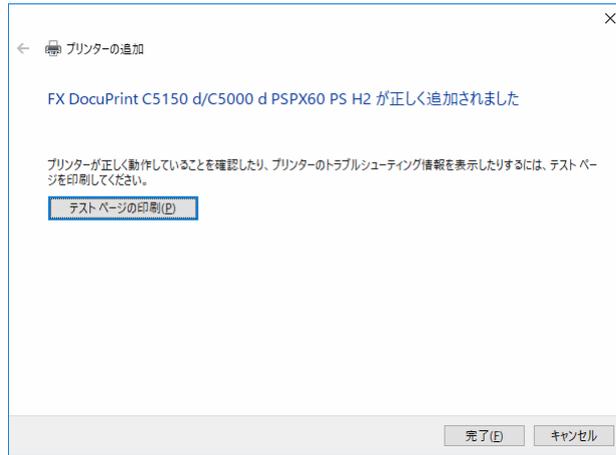
◆ **プリンターを共有する場合**

[このプリンターを共有して、ネットワークのほかのコンピューターから検索および使用できるようにする] を選択し、[共有名]、[場所]、および [コメント] を入力します。

◆ **プリンターを共有しない場合**

[このプリンターを共有しない] を選択します。

## 17. [完了] をクリックします。



### 補足

- ・ プリンター作成後にプリンター名を変更しないでください。
- ・ プリンタードライバーを更新する場合は、以下のように行ってください。
  - Windows の [スタート] → [Windows システムツール] → [コントロールパネル] → [デバイスとプリンター] でプリンターを選択し、[デバイスの削除] でプリンターを削除します。
  - [プリントサーバー プロパティ] でプリンタードライバーを削除します。
  - コンピューターを再起動したあと、プリンタードライバーをインストールします。

## Bonjour機能

IPネットワーク上のデバイスやサービスなどを自動で検出する Bonjour 機能により、プリンターの追加が簡単にできます。

「Bonjour for Windows」がインストールされていることを確認します。



### 補足

- ・ Bonjour 機能を使用してのプリンターの作成は、プリンタードライバーをインストールしたあとに行ってください。
- ・ Bonjour 機能を使用するには、プリンターを設定するクライアントコンピューターと Print Server が同一のサブネット内に接続されている必要があります。
- ・ 「Bonjour for Windows」がインストールされていない場合は、Apple Inc. の Web サイトからダウンロードして、インストールしてください。

Windows 10 を例に説明します。

1. デスクトップの「Bonjour プリンター ウィザード」アイコンをクリックします。  
Bonjour 機能が設定されているプリンターが表示されます。



### 補足

Windows の [スタート] → [Bonjour] → [Bonjour プリンター ウィザード] を選択しても、起動できます。

2. プリンターを選択し、[次へ] をクリックします。
3. [完了] をクリックします。

## 2.2.4 Windowsクライアント（PDFプリンタードライバー）

PDFプリンタードライバーをインストールします。

 **補足** PDFプリンタードライバーは、Windows 10、Windows 8.1、Windows 7だけに対応しています。

### インストールの準備

インストールの前に、あらかじめ、PDFプリンタードライバープラグインをダウンロードしておきます。

 **参照** PDFプリンタードライバープラグインについては、「2.1 ソフトウェアを入手する」(P.60)を参照してください。

PDFプリンタードライバーをインストールする前に、起動しているアプリケーションをすべて終了してください。

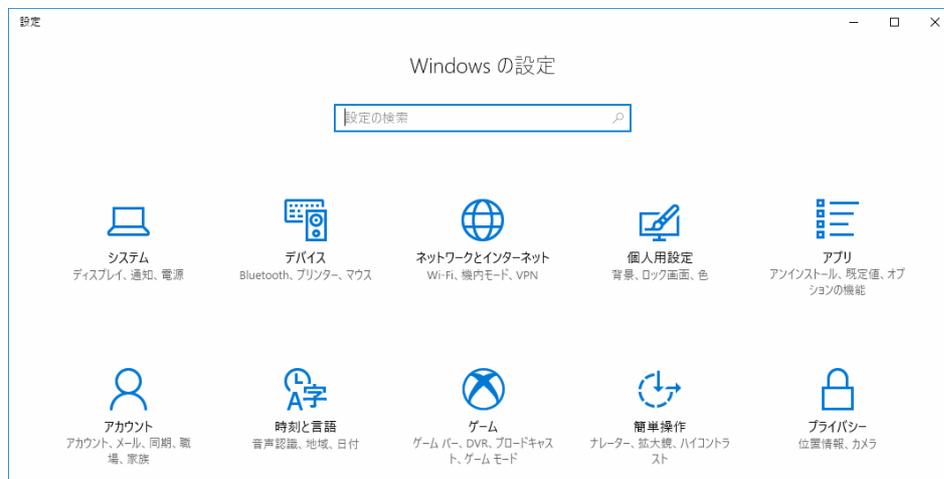
 **補足** PDFプリンタードライバーのインストールは、Windowsに管理者権限のあるユーザーでサインインしてください。

 **参照** プリントに関する制限については、『ユーザーズガイド 運用編』の「7.2.2 PDFプリンタードライバーに対する制限事項」を参照してください。

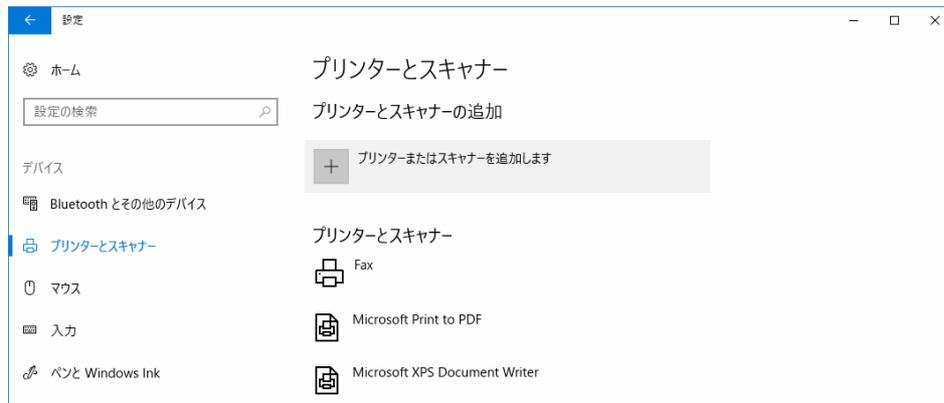
### プリンターの作成

Windows 10を例に説明します。

1. Windowsの [スタート] →  [設定] をクリックし、[デバイス] を選択します。



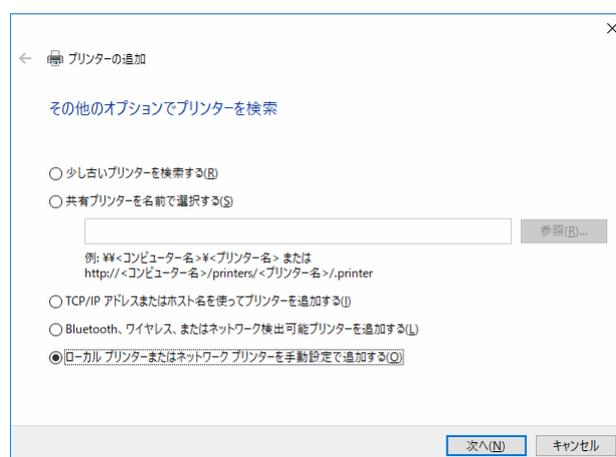
2. 画面の左側で、[プリンターとスキャナー] を選択し、画面の右側で、[プリンターまたはスキャナーを追加します] を選択します。



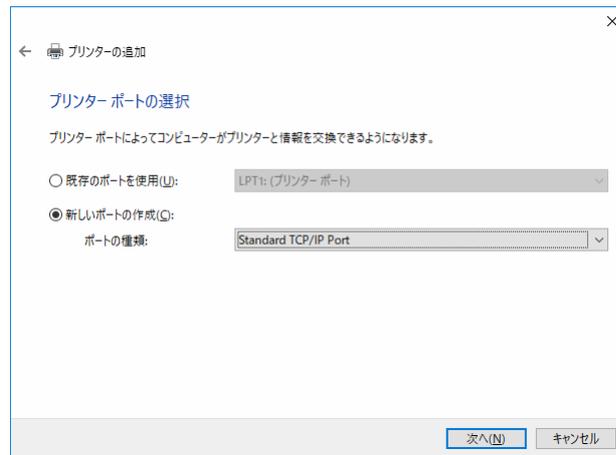
3. [プリンターが一覧にない場合] をクリックします。  
[その他のオプションでプリンターを検索] ダイアログボックスが表示されます。



4. [ローカルプリンターまたはネットワークプリンターを手動設定で追加する] を選択し、[次へ] をクリックします。

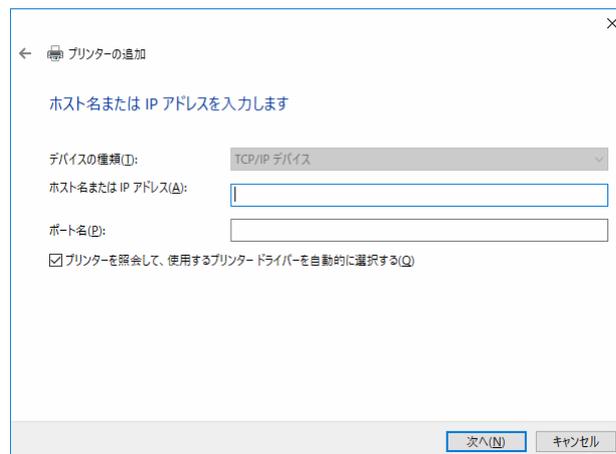


5. [新しいポートの作成] を選択し、[ポートの種類] で [Standard TCP/IP Port] を選択して、[次へ] をクリックします。

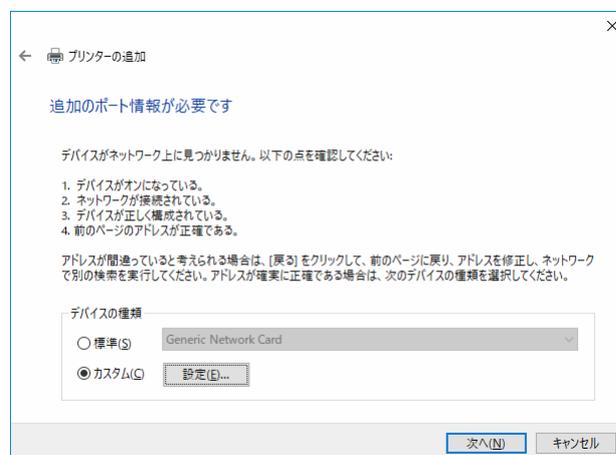


6. 以下の設定をし、[次へ] をクリックします。

1. [ホスト名またはIPアドレス] にPrint ServerのIPアドレスを入力します。
2. [ポート名] にPrint ServerのTCP/IP論理プリンタの設定名を入力します。
3. [プリンターを照会して、使用するプリンタードライバーを自動的に選択する] のチェックマークを外します。

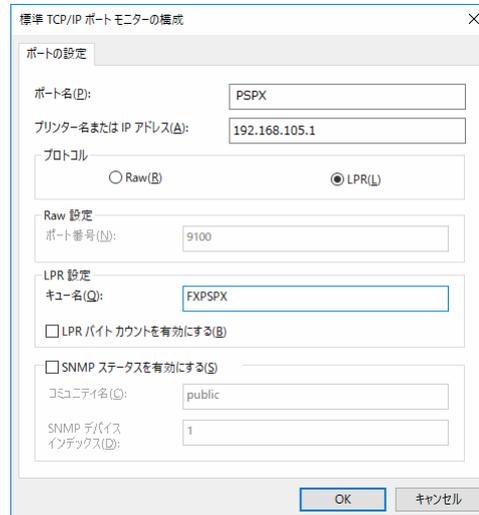


7. [デバイスの種類] で [カスタム] を選択し、[設定] をクリックします。



## 8. 以下の設定をし、[OK] をクリックします。

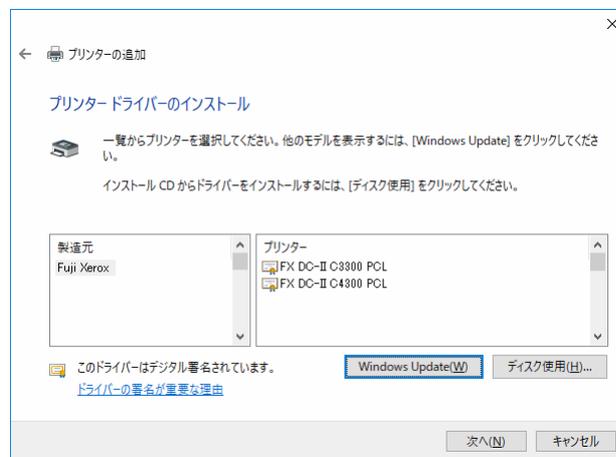
1. [プロトコル] で [LPR] を選択します。
2. [LPR 設定] の [キュー名] に Print Server の TCP/IP 論理プリンタの設定名（画面例では「FXPSPX」）を入力します。
3. [LPR バイトカウントを有効にする] にチェックマークを付けます。



 **補足** Raw モードはサポートしていません。

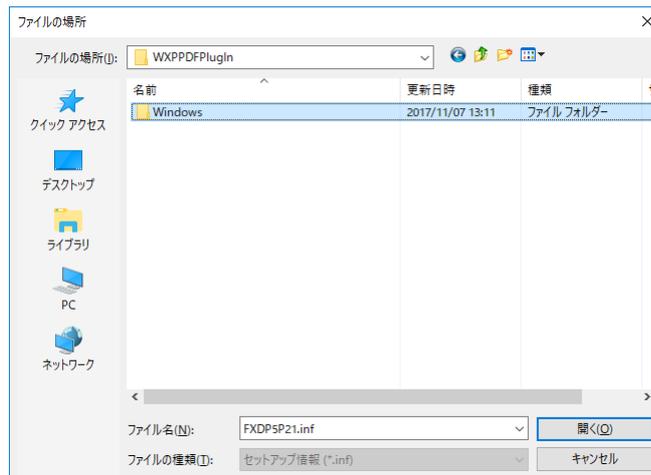
## 9. [プリンターの追加] ダイアログボックスで、[次へ] をクリックします。

## 10. [ディスク使用] をクリックします。



## 11. [フロッピーディスクからインストール] ダイアログボックスで、[参照] をクリックします。

12. [WXPPDFPlugIn] → [Windows] フォルダーを選択し、[開く] をクリックします。

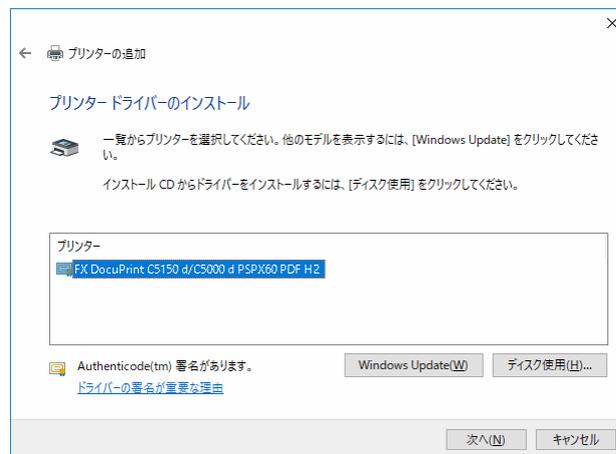


 **補足** 「Windows」フォルダーは、「WXPPDFPlugIn.exe」を解凍した「WXPPDFPlugIn」の中のものを使用してください。

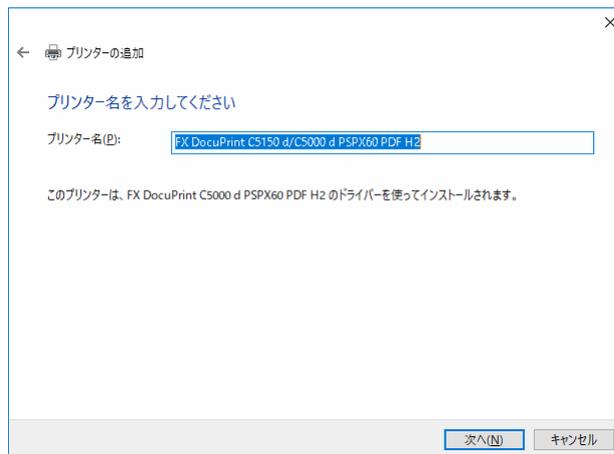
13. 開いたフォルダー内のINFファイルを選択し、[開く] をクリックします。

[フロッピーディスクからインストール] ダイアログボックスが表示されたら、[OK] をクリックします。

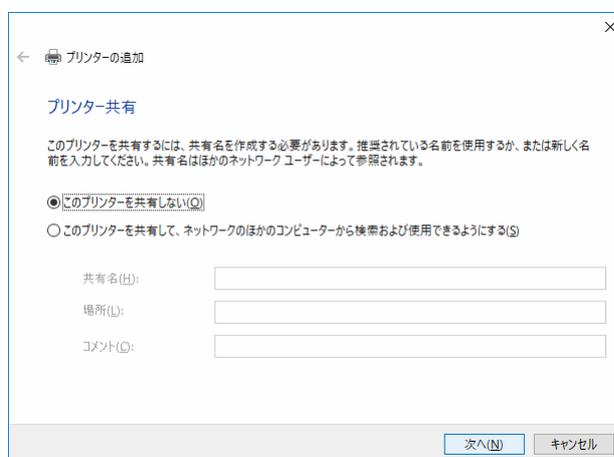
14. [FX DocuPrint C5150 d/C5000 d PSPX60 PDF H2] を選択し、[次へ] をクリックします。



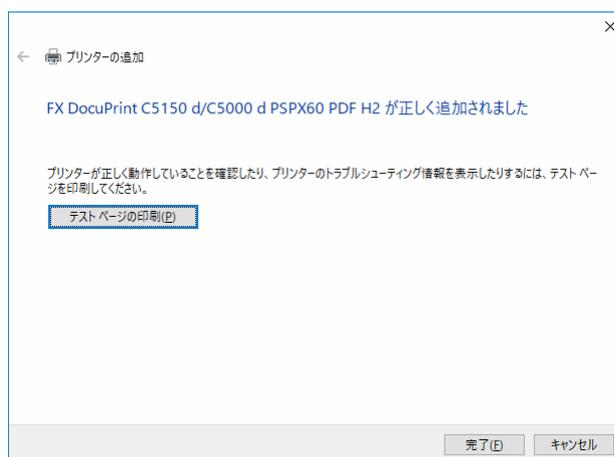
15. [次へ] をクリックします。



16. [このプリンターを共有しない] を選択し、[次へ] をクリックします。



17. [完了] をクリックします。



## 2.3 ソフトウェアをインストールする

ここでは、Print Serverで使える各種ソフトウェアをインストールする手順について説明します。



**補足** ソフトウェアをインストールする前に、起動しているアプリケーションをすべて終了してください。

### 2.3.1 macOSクライアント

ソフトウェアのファイル名は、「DropUtility\_ DPC5000d.dmg」です。

1. ダウンロードしたソフトウェアのアイコンをダブルクリックします。  
ディスクイメージが解凍され、[DropUtility\_ DPC5000d] ダイアログボックスが開きます。
2. 「\*\_DropUtility\_ DPC5000d.pkg」（\*はOSのバージョンが入ります）アイコンをダブルクリックします。  
インストールを続けるかどうかを確認するダイアログボックスが表示されます。
3. [続ける] をクリックします。  
[よろこそDropUtility\_ DPC5000dインストーラへ] ダイアログボックスが表示されます。
4. [続ける] をクリックします。  
[大切な情報] ダイアログボックスが表示されます。
5. [続ける] をクリックします。  
[{ハードディスクの名前}に標準インストール] ダイアログボックスが表示されます。
6. インストールの場所を選択し、[インストール] をクリックします。  
名前とパスワードを入力するダイアログボックスが表示されます。
7. [名前] と [パスワード] を入力し、[OK] をクリックします。  
インストールが開始されます。
8. [インストールに成功しました] ダイアログボックスが表示されたら、[閉じる] をクリックします。

#### ■ アンインストール方法

[アプリケーション] → [Fuji Xerox] → [Print Server PX] の削除するソフトウェアのフォルダーを、フォルダーごと削除します。

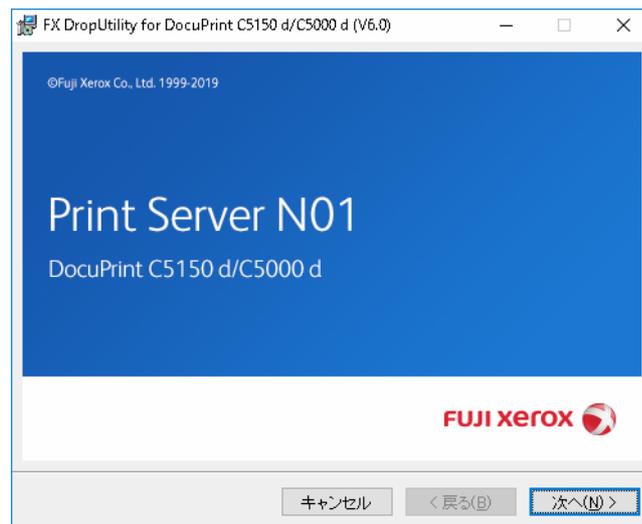
## 2.3.2 Windowsクライアント

ソフトウェアのファイル名は、以下のとおりです。

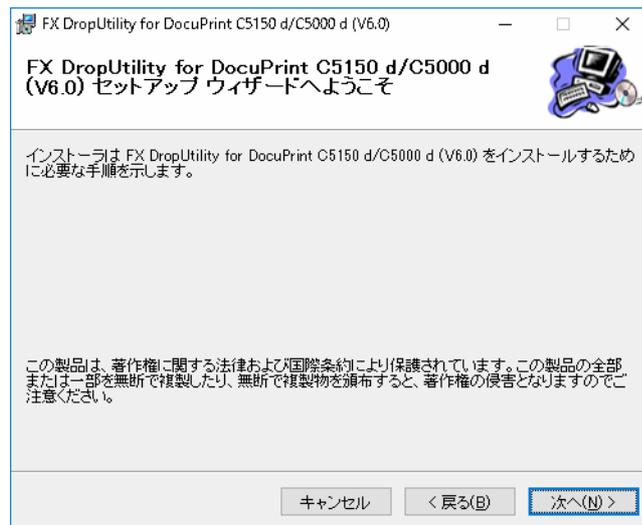
- ・ DropUtility\_DPC5000d.exe (64ビット用は、DropUtility\_DPC5000d(x64).exe)
- ・ EasyMagnifier.exe (64ビット用は、EasyMagnifier64.exe)
- ・ PrinterStatusMonitor.exe
- ・ ServerManager\_Installer.exe

ここでは、DropUtility を Windows 10 にインストールする手順を例に説明します。

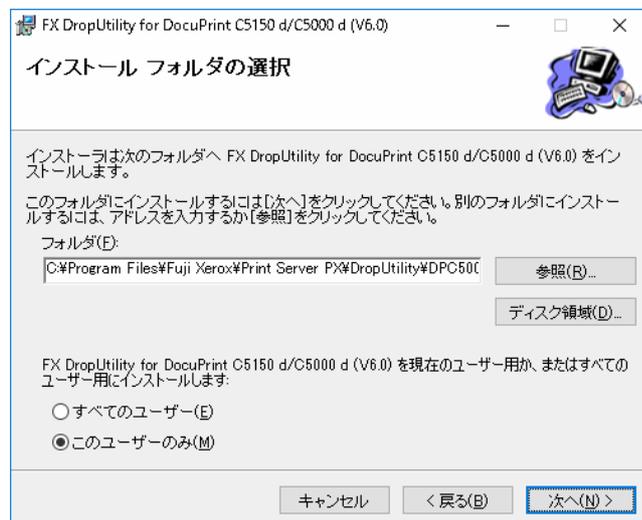
1. ダウンロードした「DropUtility\_DPC5000d.exe」アイコンをダブルクリックし、ファイルを解凍します。  
「DropUtility\_DPC5000d」フォルダーが作成されます。
2. 「DropUtility\_DPC5000d」フォルダーにある「DropUtility\_DPC5000d.msi」をダブルクリックします。  
インストーラーが起動します。
3. [次へ] をクリックします。



## 4. [次へ] をクリックします。

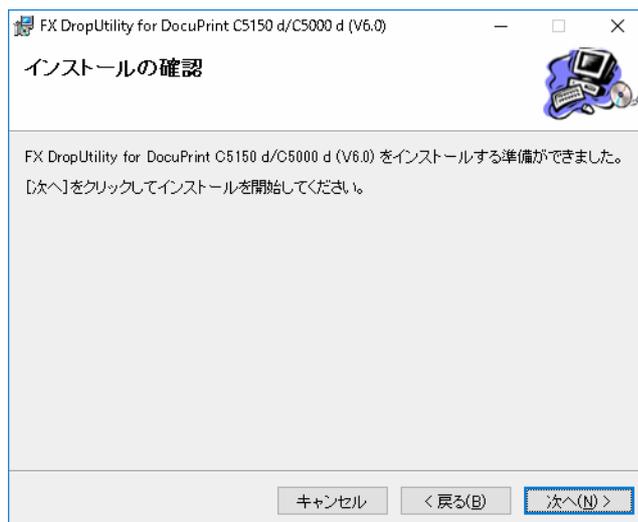


## 5. [次へ] をクリックします。



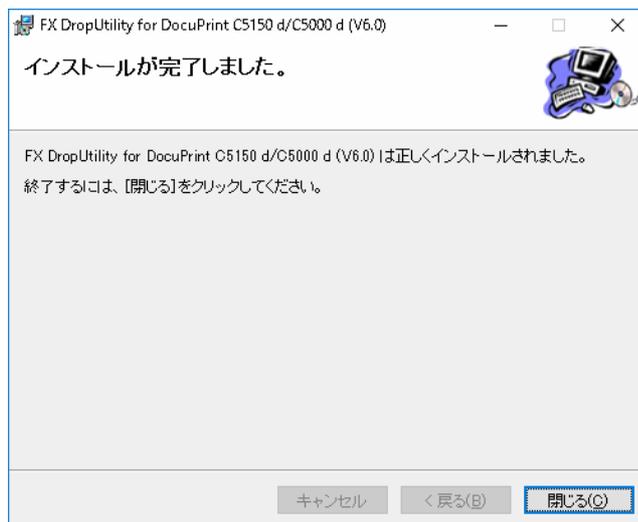
インストール先を変更する場合は、フォルダ名を直接入力するか、[参照] をクリックしてフォルダを選択します。

6. [次へ] をクリックします。



インストールが開始されます。

7. インストールが完了したら、[閉じる] をクリックします。



■ アンインストール方法

1. Windowsの [スタート] → [Windows システムツール] → [コントロールパネル] → [プログラムと機能] を選択します。
2. リストの中から削除するソフトウェアを選択し、[アンインストール] をクリックします。
3. 確認のダイアログボックスで、[OK] をクリックします。
4. コンピューターを再起動します。

ソフトウェアのアンインストールは完了です。

# 3

## プリントの基本操作

---

プリントの流れとPrint Serverの基本的な操作について説明しています。

3.1	クライアントコンピューターからジョブを送信する .....	90
3.1.1	Mac OS Classicクライアント .....	91
3.1.2	macOSクライアント .....	93
3.1.3	Windowsクライアント .....	96
3.2	ServerManagerで編集、プリントする .....	98
3.2.1	ServerManagerウィンドウ .....	98
3.2.2	ジョブの編集 .....	101
3.2.3	プリントの指示 .....	102
3.2.4	エラーシート .....	103

## 3.1 クライアントコンピューターからジョブを送信する

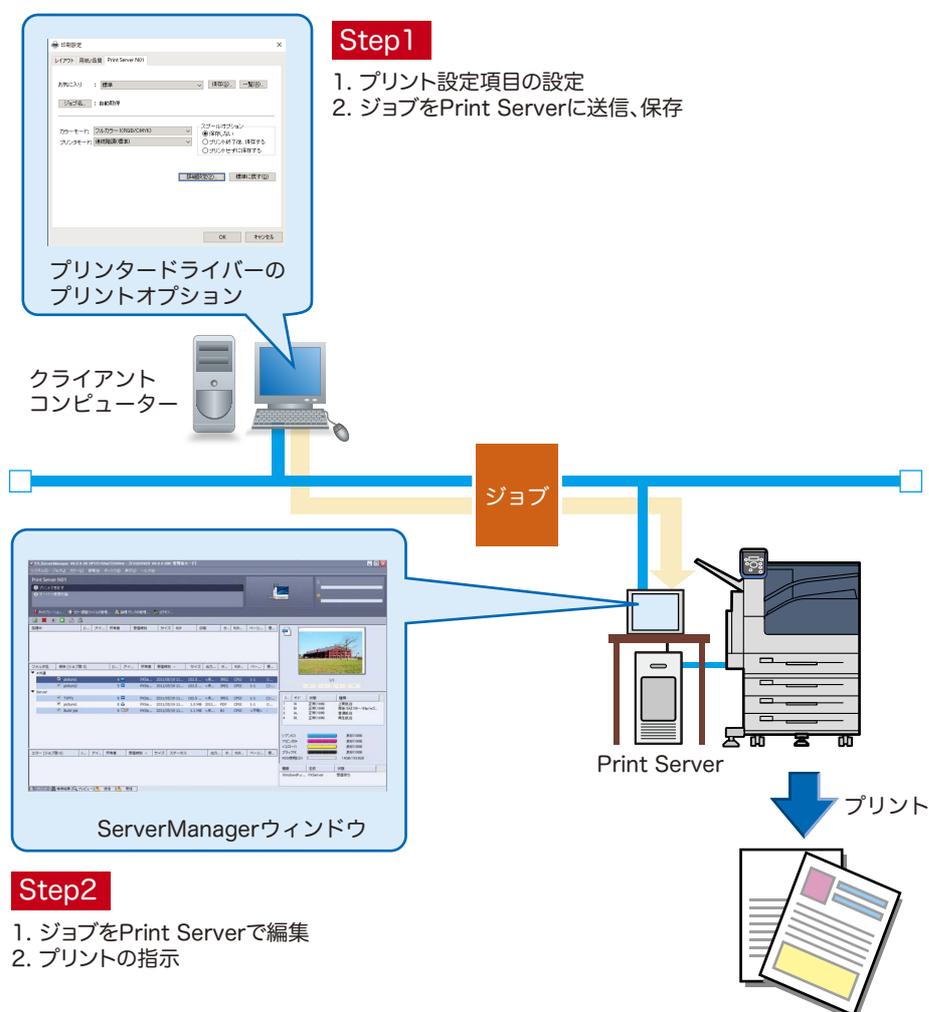
色の調整をはじめ、Print Serverのいろいろな機能を利用するために、ジョブをクライアントコンピューターからPrint Serverに送信し、スプールします。

操作の前に以下の項目を確認してください。

- ・ 接続対象になるプリンターやソフトウェアが明確になっていること
- ・ Print Serverを接続するために必要な製品については、ネットワーク管理者、または販売店やカタログなどからの情報によって、準備できていること
- ・ Print Serverのセットアップと各種設定が完了していること（ネットワーク管理者に確認してください）
- ・ クライアントコンピューターに、プリンタードライバーなどのソフトウェアをインストールしていること

 **参照** 詳細は、「2 クライアントコンピューターの設定」(P.59) を参照してください。

クライアントコンピューターからのプリントは、以下の流れで行われます。



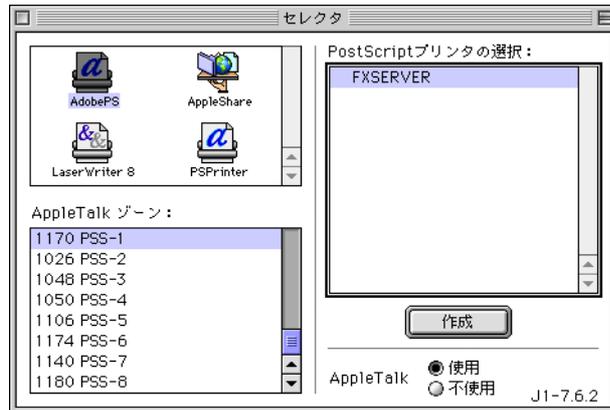
### 補足

- ・ お客様が使用しているクライアントコンピューターやシステム構成によって、前述の流れは異なることがあります。
- ・ プリンタードライバーの機能だけを使用する場合、クライアントコンピューターからPrint Serverにジョブを送信する必要はありません。
- ・ Print Serverの操作中にトラブルが発生したときは、『ユーザーズガイド 運用編』の「6.3 エラージョブメッセージについて」を参照し、対処してください。

### 3.1.1 Mac OS Classicクライアント

Mac OS ClassicクライアントからPrint Serverにジョブを送信する手順を説明します。

1. アップルメニューで、[セレクト] を選択します。
2. [AdobePS] を選択し、[AppleTalkゾーン] を選択して、[PostScriptプリンタの選択] で Print Server を選択します。



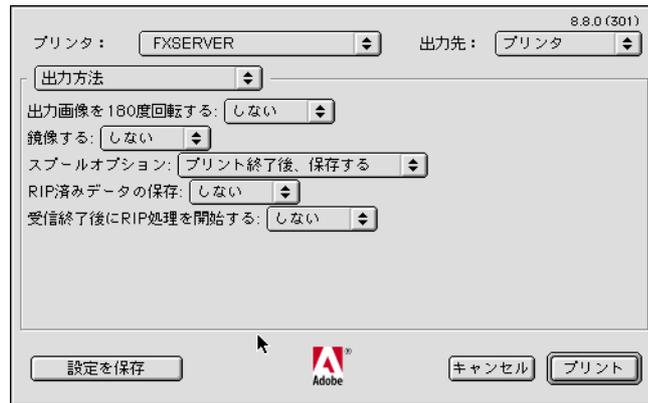
AppleTalkゾーン名やPrint Serverのコンピューター名がわからない場合は、ネットワーク管理者に確認してください。

3. プリンターを選択したら、[セレクト] を閉じます。
4. アプリケーションの [ファイル] メニューで、[プリント] を選択します。
5. [プリンタ] に Print Serverのプリンタ名が選択されていることを確認します。



 **補足** アプリケーションによって、ダイアログボックスの表示が異なることがあります。

6. 設定項目のメニューで、[出力方法] を選択し、[スプールオプション] > [プリント終了後、保存する]、または [プリントせずに保存する] を選択します。



 **補足** アプリケーションによっては、[スプールオプション] を設定できません。

7. 必要に応じて、その他の各項目を設定します。

 **補足** Print Server は、AdobePS プリンタードライバのレイアウト機能 (両面印刷) には対応していません。

 **参照** プリントオプションについては、『ユーザーズガイド 運用編』の「4.1 ジョブを編集する (プリントオプション項目)」を参照してください。

8. [設定を保存] をクリックし、プリントダイアログボックスで、[プリント] をクリックします。

ジョブがPrint Serverに送信されます。

9. 必要に応じて、WebManagerを起動してジョブを確認します。

WebManagerを使うと、ジョブを表示させたり、一時的にプリントを停止したり、プリント待ちのリストからジョブを削除したりできます。

 **参照** WebManagerの使い方については、『ユーザーズガイド 運用編』の「5.2 WebManager」を参照してください。

続いて、「3.2 ServerManagerで編集、プリントする」(P.98)に進みます。

## 3.1.2 macOSクライアント

macOSクライアントからPrint Serverにジョブを送信する手順を説明します。

1. [システム環境設定] の [プリンタとスキャナ] アイコンをクリックします。
2. [デフォルトのプリンタ] でPrint Serverを選択します。



Print Server のコンピューター名がわからない場合は、ネットワーク管理者に確認してください。

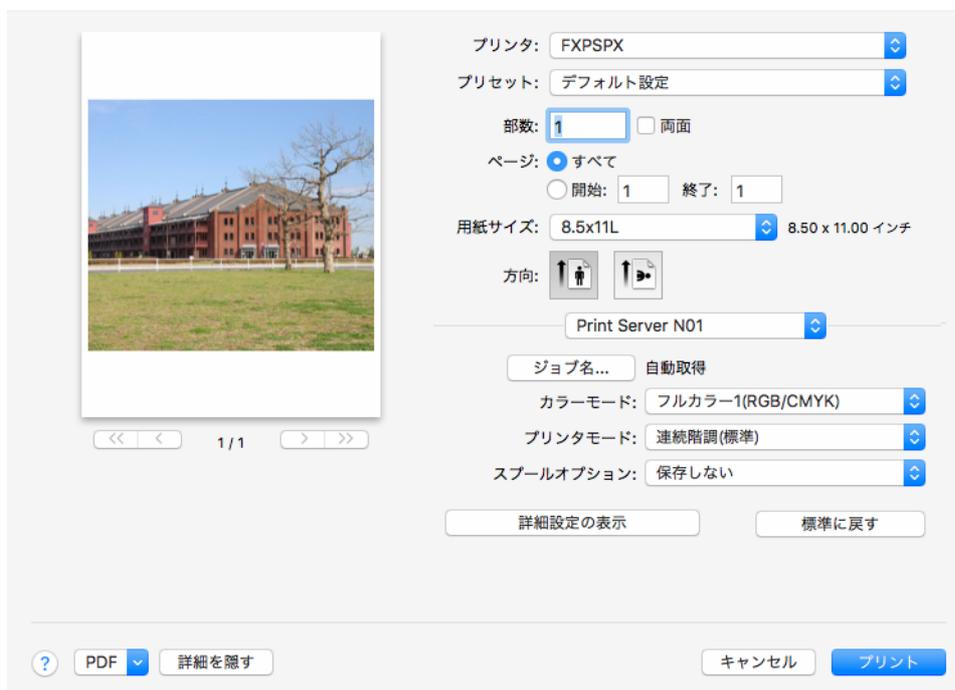


補足

[デフォルトのプリンタ] に表示されるプリンター名は、接続方法により異なります。AppleTalk を使用する場合は、[FX DocuPrint C5150 d/C5000 d PSPX60 PS H2 v3019.101] と表示され、IP を使用する場合は、プリンターの作成時に設定した名前が表示されます。

3. プリンターを選択したら、[プリンタとスキャナ] を閉じます。
4. アプリケーションの [ファイル] メニューで、[プリント] を選択します。

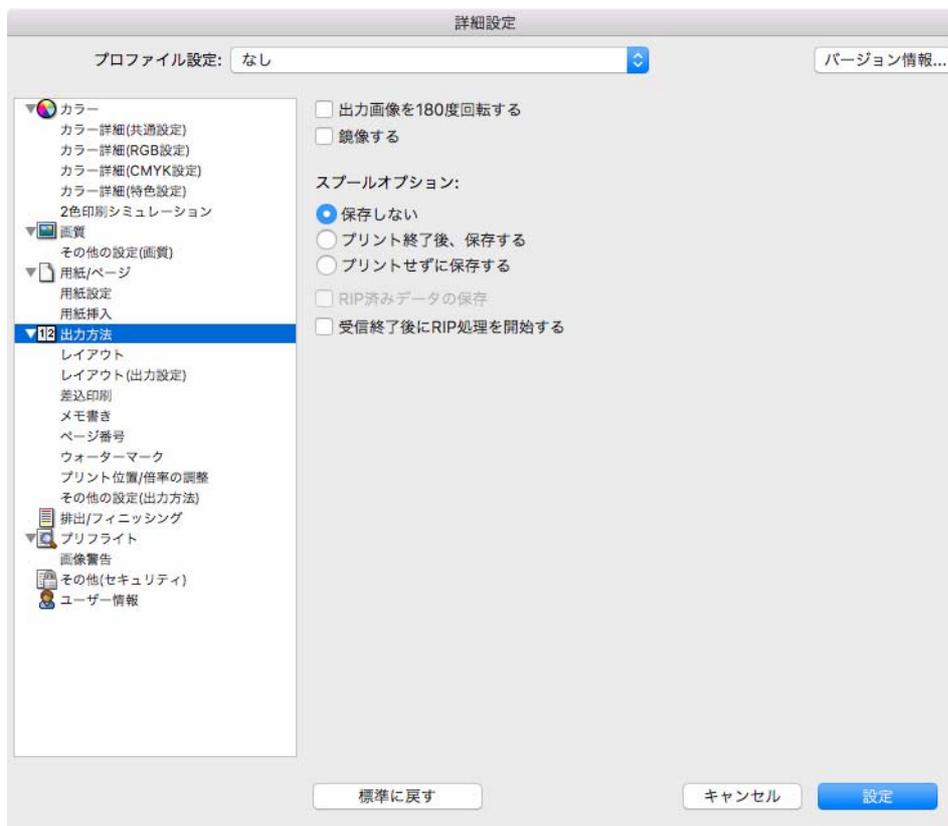
5. [プリンタ] にPrint Serverのプリンター名が選択されていることを確認し、設定項目のメニューで、[Print Server N01] を選択します。



 **補足** アプリケーションによって、ダイアログボックスの表示が異なることがあります。

6. [詳細設定の表示] をクリックします。

7. [出力方法] を選択し、[スプールオプション] > [プリント終了後、保存する]、または [プリントせずに保存する] を選択します。



 **補足** OS のバージョンやアプリケーションによっては、[スプールオプション] を設定できません。

8. 必要に応じて、その他の各項目を設定します。

 **補足** Print Server は、AdobePS プリンタードライバのレイアウト機能（両面印刷）には対応していません。

 **参照** プリントオプションについては、『ユーザーズガイド 運用編』の「4.1 ジョブを編集する（プリントオプション項目）」を参照してください。

9. [設定] をクリックし、プリントのダイアログボックスで、[プリント] をクリックします。  
ジョブが Print Server に送信されます。

10. 必要に応じて、WebManager を起動してジョブを確認します。

WebManager を使うと、ジョブを表示させたり、一時的にプリントを停止したり、プリント待ちのリストからジョブを削除したりできます。

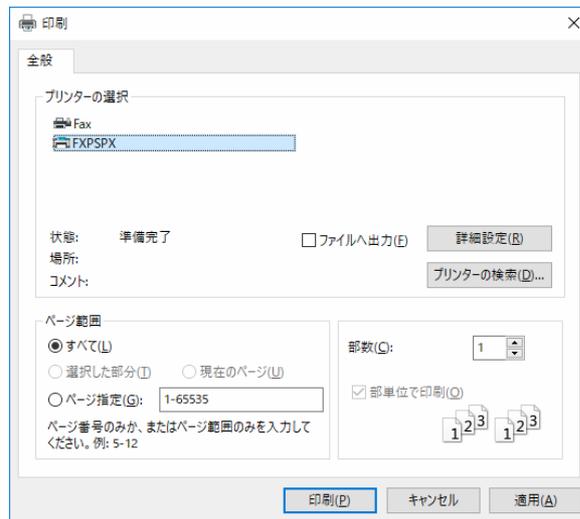
 **参照** WebManager の使い方については、『ユーザーズガイド 運用編』の「5.2 WebManager」を参照してください。

続いて、「3.2 ServerManager で編集、プリントする」(P.98) に進みます。

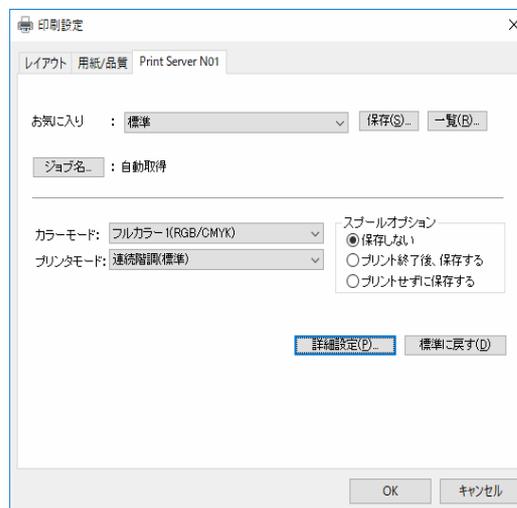
### 3.1.3 Windowsクライアント

WindowsクライアントからPrint Serverにジョブを送信する手順を説明します。  
Windows 10のワードパッドを例に説明します。

1. アプリケーションの [ファイル] → [印刷] を選択します。
2. [プリンターの選択] でPrint Serverを選択し、[詳細設定] をクリックします。



3. [Print Server N01] タブ (PDFプリンタードライバの場合は [基本] タブ) > [スプールオプション] の [プリント終了後、保存する]、または [プリントせずに保存する] を選択します。



**補足** 表示されるプリントオプションは、プリンタードライバによってタブ形式とそうでないものがありますが、機能は同じです。

4. 必要に応じて、その他の各項目を設定します。

**参照** プリントオプションについては、『ユーザーズガイド 運用編』の「4.1 ジョブを編集する (プリントオプション項目)」を参照してください。

5. [OK] をクリックし、[印刷] ダイアログボックスで、[印刷] をクリックします。  
ジョブがPrint Serverに送信されます。

6. 必要に応じて、WebManagerを起動してジョブを確認します。

WebManagerを使うと、ジョブを表示させたり、一時的にプリントを停止したり、ジョブを削除したりできます。



参照

WebManagerの使い方については、『ユーザーズガイド 運用編』の「5.2 WebManager」を参照してください。

続いて、「3.2 ServerManagerで編集、プリントする」(P.98)に進みます。

## 3.2 ServerManagerで編集、プリントする

Print Serverで受信したジョブをServerManagerを使って編集し、プリントを指示する手順について説明します。



**参照** 各機能の詳細は、『ユーザズガイド 運用編』の「3.1 ServerManagerについて」を参照してください。

### 3.2.1 ServerManagerウィンドウ

上部にはPrint Serverやプリンターの状態を示すステータスメッセージが表示されます。

Print Serverには、「ボックス」があり、クリックするとそれぞれの「ジョブリスト」表示に切り替わります。

[プリント] ボックスには、処理中、保持、およびエラーの3つのリストがあります。

ステータスメッセージ

#### ①プレビューエリア

ジョブリストで選択したジョブのプレビュー画像が表示されます。

#### ②マシン消耗品状態エリア

プリンターの消耗品の状態とPrint Serverのハードディスク使用量が表示されます。

#### ③ネットワーク状態エリア

利用できるネットワークの現在の状態が表示されます。

## 受信したジョブの確認

保持 (ジョブ数:6)	ジ...	アイ...
<input checked="" type="checkbox"/> picture-1	112	RIP
<input checked="" type="checkbox"/> A4P_pdf	116	

プリントオプションの [出力方法] > [スプールオプション] で、Print Server に保存するように設定したジョブは、ジョブリストの保持リストに表示され、先頭にチェックマークが付いています。このチェックマークの有無で、ジョブを保存する、または保存しないを変更できます。(処理中のジョブも操作できます)

チェックマークが外れているジョブは、プリントなどの処理が終了すると、ジョブリストから削除されます。



通常、ウィンドウ内の文字の色は黒で表示されますが、ジョブの状態によって赤やマゼンタなどの色で表示されることがあります。ジョブに色文字が使われていたり、ジョブリストのエラーリストに表示されていたりするときは、『ユーザーズガイド 運用編』の「6.3 エラージョブメッセージについて」を参照し、対処してください。

## ログインモードの表示



ウィンドウ左上には、Print Server のコンピューター名と ServerManager にログインしたモードが表示されます。

システムの運用に影響する ServerManager の設定をしたり、セキュリティプリントの設定がされているジョブを制限なく操作したりするには、管理者モードでログインしている必要があります。



ログインモード、およびログインの操作方法については、「ServerManager 起動時の自動ログイン」(P.28)を参照してください。

## バージョン情報の表示



ウィンドウ左上には、ServerManager と Print Server のバージョン名が表示されます。

## カラム幅の変更

この部分をマウスで左右にドラッグします



各ジョブリストのヘッダー部分の右側を左右にドラッグすると、各カラムの幅を変更できます。

## カラムの移動

■「受信時刻」を「所有者」の前に移動する場合

移動中は、項目が半透明で表示されます



各ジョブリストの移動させる項目のカラムを選択し、移動する場所までドラッグ&ドロップします。

## ジョブリストのソート

このカラム上で1回クリックすると、▲マークが表示されます



保持リストとエラーリストでは、選択した項目をキーにして、ジョブを昇順、または降順にソートして表示できます。

ソートする項目のカラム上でクリックすると、▲マークが表示され、昇順にソートされます。

昇順 (▲) と降順 (▼) は、1回クリックするごとに切り替わります。

デフォルトでは、「受信時刻」で昇順にソートされています。

## リスト表示項目の選択



カラムを右クリックして表示されるメニューで、項目の表示/非表示が選択できます。



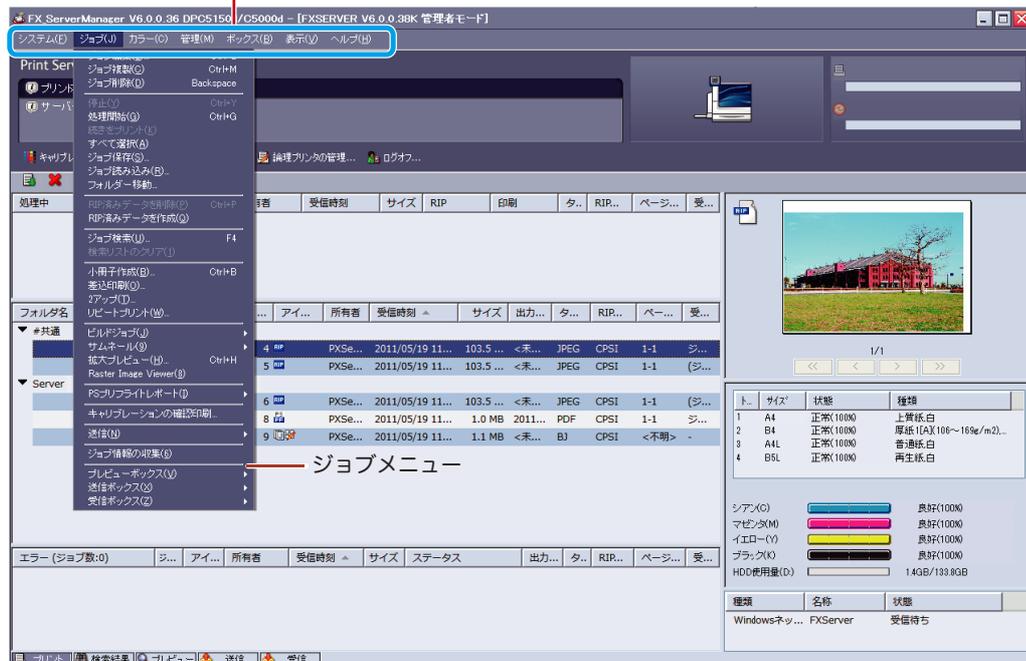
**補足** 項目を非表示から表示に変更すると、カラムの最右端に追加されます。

## 3.2.2 ジョブの編集

ジョブリストにあるジョブを選択して、以下の方法で [ジョブ編集] ダイアログボックスを表示できます。

- ・ダブルクリックする
- ・ServerManagerの [ジョブ] → [ジョブ編集] を選択する
- ・右クリックして表示されるポップアップメニューで [ジョブ編集] を選択する

ServerManager のメニュー



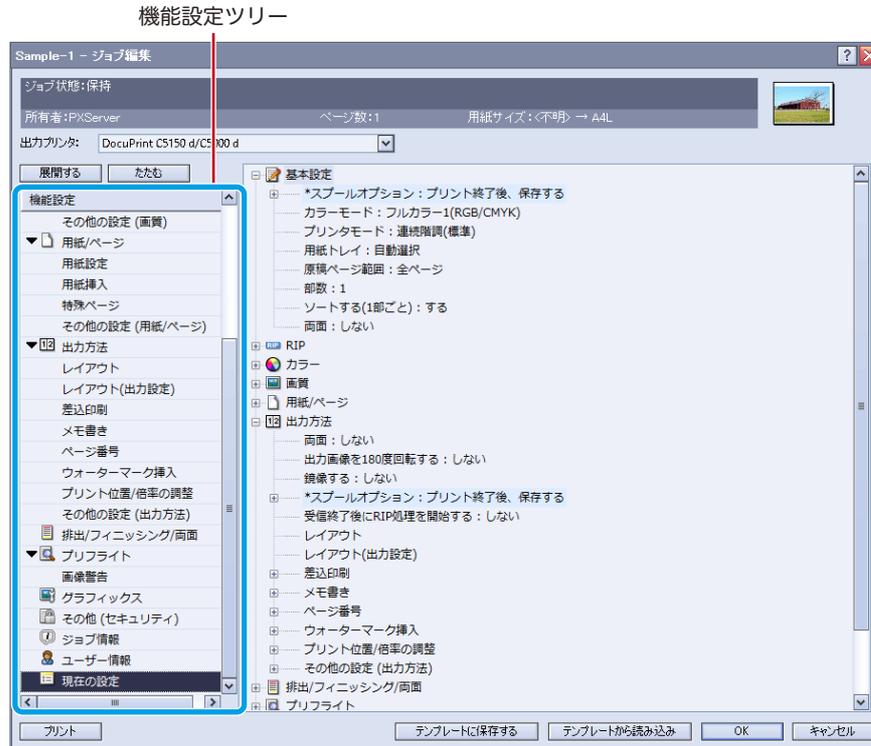
補足

- ・処理中リストのジョブは、ドラッグ&ドロップをしても処理の順番は変更できません。
- ・ジョブに対する操作は、選択したすべてのジョブが対象になります。ただし、選択したジョブやジョブの数によって、選択できるメニューの項目は異なります。
- ・複数のジョブを選択する場合は、〈Ctrl〉キー+クリックで任意選択、〈Shift〉キー+クリックで連続選択ができます。
- ・一般ユーザーでログインしている場合、セキュリティプリントが設定されているジョブを操作するためには、パスワードの入力が必要です。

◆ 機能設定ツリー

クリックすると、右側に設定項目が表示されます。

[現在の設定] では、先頭に「\*」が表示され、デフォルトから変更された項目を確認できます。



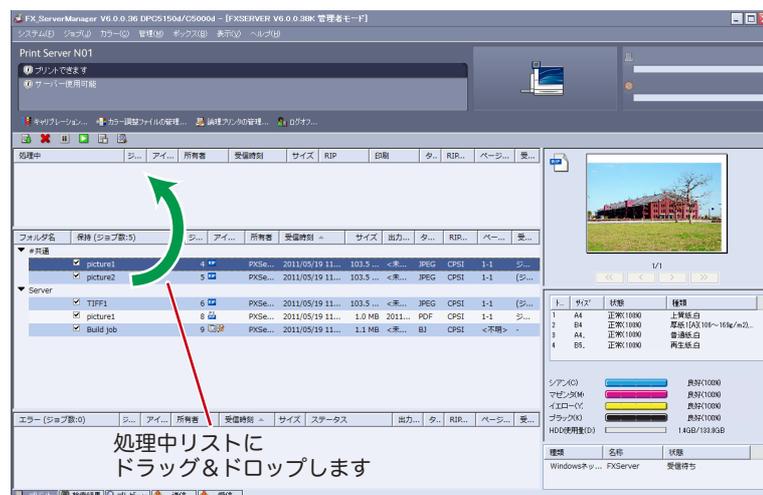
 補足 処理中のジョブは、編集できません。

### 3.2.3 プリントの指示

ジョブの編集やプリフライトチェックが完了したら、プリントを指示します。

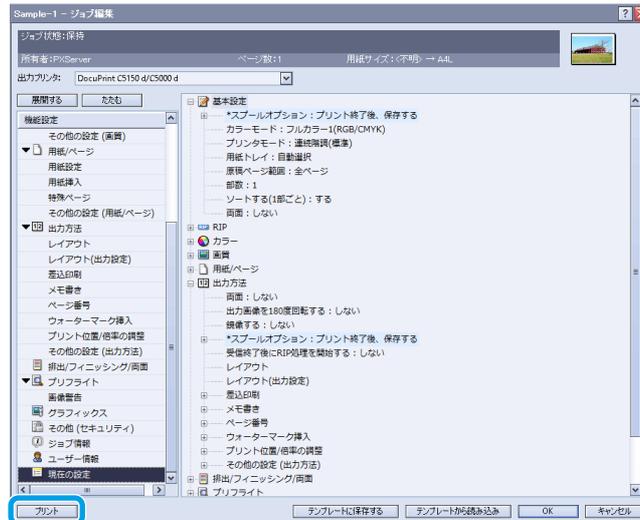
プリントするときは、ジョブを処理中リストにドラッグ&ドロップします。

■ ジョブリストから



[ジョブ編集] ダイアログボックスが表示されている場合は、[プリント] をクリックします。

#### ■ [ジョブ編集] ダイアログボックスから



ほかにも、プリントの指示には以下の方法があります。

- ・ [ジョブ] → [処理開始] を選択する
- ・ ServerManagerの機能ボタン (▶) をクリックする
- ・ 右クリックして表示されるポップアップメニューで [処理開始] を選択する

## 3.2.4 エラーシート

プリント処理中にPostScriptエラーが発生すると、エラーシートがプリントされます。

エラーシートには、エラーの内容が記述されています。

```
%%{Error:undefined spot color,(DIC 2349p)}%%
%%[Flushing:rest of job(to end-of-file)will be ignored]%%
```

シートを参照して、ジョブのファイルの設定を確認してください。



補足

エラーシートは、エラーが発生したときにプリントするように、デフォルトで設定されています。エラーシートがプリントされないように設定する方法については、「プリントジョブの設定」(P.46)を参照してください。

## 記号・英数

Administrator .....	29
AppleTalk プロトコル .....	31
Bonjour 機能 .....	78
IP アドレス .....	22
ServerManager .....	45, 98
TCP/IP .....	22, 36
Users .....	29
Web セキュリティ .....	29
Windows ネットワーク .....	38

## あ

アカウント管理 .....	25
---------------	----

## い

インストール .....	60, 85
--------------	--------

## お

オプションメモの設定 .....	50
------------------	----

## き

機能紹介 .....	10
キャリブレーションの通知設定 .....	51
共有フォルダ .....	33

## さ

作業用フォルダの設定 .....	53
------------------	----

## し

自動ログイン .....	28
ジョブの送信 .....	90
ジョブの編集 .....	101
ジョブ履歴の設定 .....	48

## す

スプールフォルダ .....	54
----------------	----

## そ

ソフトウェアの種類 .....	61
ソフトウェアの入手 .....	60

## た

ダウンロード .....	61
--------------	----

## と

動作環境 .....	60
------------	----

## は

パスワード .....	30
-------------	----

## ふ

ファイル保存フォルダ .....	53
プリンター設定 .....	53
プリンターを設定する	
Mac OS Classic クライアント .....	64
macOS クライアント .....	67
Windows クライアント .....	71
プリントオプションテンプレート .....	39
プリントジョブの設定 .....	46
プリントの指示 .....	102
プロトコル設定 .....	31

## ほ

ボックスの設定 .....	49
ホットフォルダ .....	54

## め

メールボックス .....	54
---------------	----

## ゆ

ユーザー名 .....	29
-------------	----

## ら

ライセンスの設定 .....	52
----------------	----

## ろ

ログイン .....	27
ログインモードの表示 .....	99
ログオフ .....	27
論理プリンタ .....	35

# 商品のお問い合わせ先について

この商品の**保守、操作、修理**(内容、期間、費用)のお問い合わせ、および**消耗品**をご購入される場合は、商品に貼られている保守サポートの問い合わせ先カードの裏面に記載のあるカスタマーコンタクトセンター、または販売店にお問い合わせください。



表面



裏面

お問い合わせ先が不明の場合は、富士ゼロックス プリンターサポートデスクにお問い合わせください。

フジゼロックス  
フリーダイヤル:0120-66-2209 FAX:0120-14-1046

フリーダイヤル受付時間：土、日、祝日、および弊社指定休業日を除く 9 時～ 17 時 30 分

フリーダイヤルは、携帯電話・PHS および海外からはご利用いただけません。また、一部の IP 電話からはつながらない場合があります。お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

本機を廃却する場合は、お買い上げいただいた富士ゼロックス、各販売会社の担当営業にお問い合わせいただき、お申し込みください。担当営業が不明な場合には、プリンター回収センターで受付します。

TEL : 0120-88-8641 FAX : 0120-22-6993

受付時間：9 時～ 12 時、13 時～ 17 時

弊社へのお問い合わせの際には、機種名と機械番号を確認させていただきます。

保守サポートの問い合わせ先カードの裏面の「機種」「機械 No.」、もしくは商品の背面、または側面の銀色のシールに記載されている「商品名」「商品コード」「SER#」を事前にご確認ください。

ご意見やご相談の受付窓口：お客様相談センター

電話：0120-27-4100（通話料無料）

FAX：0120-05-5035（通話料無料）

フリーダイヤル受付時間：土、日、祝日、および弊社指定休業日を除く 9 時～ 12 時、13 時～ 17 時

フリーダイヤルは、海外からはご利用いただけません。また、一部の IP 電話からはつながらない場合があります。お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

公式サイト：<http://www.fujixerox.co.jp/>

商品全般に関する情報、最新ソフトウェアなどを提供しています。

## Print Server N01 ユーザーズガイド 導入編

著作者 ー富士ゼロックス株式会社

発行年月 ー2019年2月 第1版

発行者 ー富士ゼロックス株式会社

ME5442J1-4